



スペイン Camino de Santiago 異教徒巡礼紀行（フランス人の道）



2024年6月3日～6月29日 同行二人（旧友と）



(La Catedral en Santiago de Compostela)

もくじ

[スペイン巡礼の道 12本のルート図 \(ルート概要図\)](#) . . . P. 3

[【1】はじめに](#) P. 4

[【2】スペイン弥次喜多道中、徒然なる儘に](#) P. 5

[【3】ご参考 \(補足資料\) ～今後巡礼を計画される方々へのご参考資料～](#)

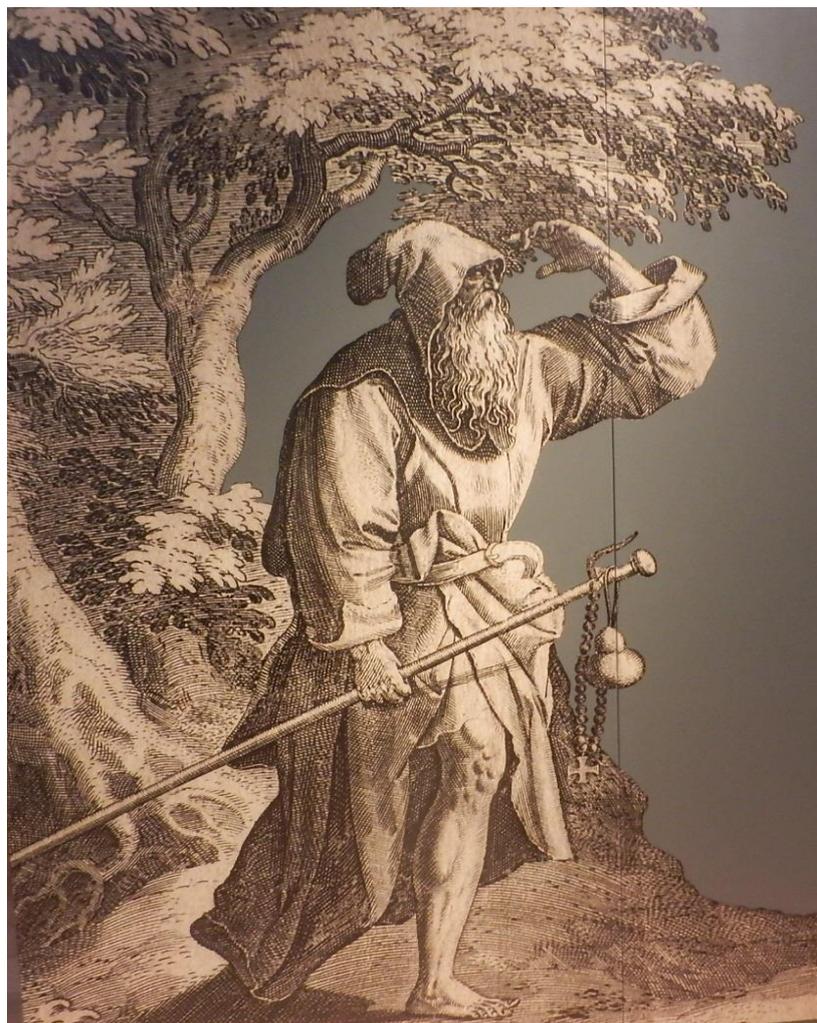
■ [スペイン巡礼で留意すべきこと](#) P. 34

■ [参考図書、ガイドブック、ホームページ情報など](#) P. 36

■ [巡礼路「フランス人の道」詳細ルート図](#) P. 37

■ [同 徒歩での標準日程及び宿場一覧表](#) P. 38

■ [\(補遺\) 我々の辿った行程、泊まった宿の状況](#) P. 43



スペイン巡礼の道 12本のルート図

今回はその内の「フランス人の道」(Camino Francés)を辿った

下記のルート図で橙色の道、ルート距離 779km

始点 : St. Jean Pied de Port, France

終点 : Santiago de Compostela, Spain

なお、Santiago から、スペイン西端の岬が大西洋岸に突き出ている古代の巡礼道の終点であった **Fisterra 岬** まで巡拝してきた



【1】はじめに

本巡礼は、国内の四国八十八カ所遍路や日本観音霊場百札所巡拝が一段落し、異教徒ではあるがその最後の総仕上げとして5年前に計画したものであったが、航空券やその他の手配（個人手配）もすべて完了して出発直前になっていた矢先に折悪しくコロナが世界的に流行して海外への渡航が禁止されたために涙を吞んで中止やむなきとなっていた曰く付きのシロモノであった。

コロナが一応の収束を見た本年（2024年）、八十路を越えて脚力も激減し、おまけに抱えている持病三病（呼吸器系、循環器系、膠原病）がいつ悪化してもおかしくない体調に陥っている現在、日を追う毎にこの悲願のスペイン巡礼が限りなく逃げていく現実を思い知らされて、今を逃しては未来永劫その機会が無くなると後先考えずに我武者羅に決行した巡礼であった。

また、運が悪いことに、出発の1ヶ月前に大腿部深部静脈血栓症という病気が発病し、大腿部が電柱の如くパンパンに張れて歩けなくなり市民病院に1週間緊急入院となった。退院しても腫れが残り、主治医は当然のことながら海外旅行は許可しなかったが、何とか頼み込んで1ヶ月分の薬を処方して貰い、現地では緊急病院がある大都市にしか行かないこと、万が一何かあってもその責任は患者自身にあるという条件（即ち、主治医は許可しなかったが、患者が勝手に出掛けたという理屈）で主治医は本件には関知しないということにして何とか出発した。即ち、主治医の警告を無視して、勝手に出掛けた訳である。

途中で本当に倒れる確率が5割以上あることを身体の直観で自覚していたので、患っている病名を英語で書いた図のような標識をザックにぶら下げて、現地の救急医に患っている病気がすぐ伝わるようにして歩いた。また、持病が原因で道中で野垂れ死にする確率も3割以上と踏んでいたが、これを防ぐ特効薬も無いので後は野となれ山となれの心境で歩いた。

上記のように運が悪かったことに加えて、今回は下記のような大失敗をやらかした。この大失敗は単なる失敗や間違い、勘違いなどというシロモノではなく、アタマの回転が頗るオカシくなっていて、まさに恍惚&瘋癲老人の佳境に達しているためであった。即ち、この間の事情は以下の如くだった。

実は5年前に計画した折には、まだ70歳後半に入ったばかりの“若者老人”であったから、現地での滞在日数を少なくするために（従って宿泊費を安くあげるために）自転車で廻ることにして、「フランス人の道」完走巡礼期間を2週間、現地への渡航期間を合わせても3週間弱で終える計画とした。

自転車はマウンテン・バイク（以下MTB）を現地でレンタルすることとして、それも電動MTBにして“筋力”の欠如を“金力”（電動MTB）でカバーする方法を選んだ。

5年前の体力かつ電動マウンテンバイク利用であれば、5年前ならたぶんこの方策で巡礼を完走することができたと思うが、今回は何を血迷ったかこの5年間で体力激減と持病の増加を一顧だに考慮することなく、おまけに、電動MTBはスピードが出過ぎて老人には逆に危険であるという理由から電動を止めて普通のMTBに切り替えたのであった。

折からの円安（1€=170円）で5年前の2倍近くに膨れ上がった旅費を幾何かでも節約したいという極細年金生活者のミミッチイたつきの気持ちも暗に影響していたかも知れない。因みに現地でのMTBのレンタル額は3週間レンタルで電動付きは650€、電動無しは500€（何れも他にデポジットが200€



（持病の標識。上の貝は巡礼のシンボル）

要)でありその差額は150€(上記為替レートで25,000円超)であるから、バルでの夕食(呑み代)10日分が賄えるという寸法になる訳であった。

いずれにしても、この5年間での老化と持病の進行による体力の激減が如何に激甚であったかは、自分自身の身体が一番よく知っていることであり、そのような状況下で重いMTBをしかも電動無しで転がしてスペイン巡礼をするなどということは考えるまでも無く可能性皆無の気違い沙汰であることは自明の理であるにも関わらず、そのような考慮は一切することも無く5年前の計画その儘でノホホンと出掛けてしまったことは、これはもうアタマが恍惚状態以外の何物でもなかったことの証左であろう。即ち、この5年間に身体の老化以上にアタマの劣化の方が猛スピードで進んだということである。

その結果、現地に入ってからMTBに生まれて初めて跨って見てからこのことにやっと気付いた体たらくであり、たった数日でMTBを捨てて路線バスと徒歩巡礼に切り替えざるを得なくなった訳であるが、この顛末については後程詳細を記すことにしたい。いずれにしても、この旅の初っ端から馬鹿丸出しの風来巡礼旅となったが、マ、それもそれで結構なことであったと言うしかない。考えてみれば、八十路を過ぎた我が人生はこのような馬鹿な人生の連続であったとハンシェイしている次第である。

【2】スペイン弥次喜多道中、徒然なる儘に

(i) その発端

扱て。

上の「はじめに」でも触れたが、今回は“今回を逃したら後が無い”という謂わば強迫観念に苛まれて後先考えず飛び出した旅であった。元来が信仰心も宗教心も皆無、キリスト教には縁も縁も無しという小生であってみれば、今回の旅はスペインの聖地巡礼(Camino de Santiago)を言い訳に使ったスペイン漫遊と毎晩のバルでのcaña(生ビール)とtapas(スペイン料理のつまみ)を楽しむ酒池遊興の旅であった。

Camino de Santiagoは、その道中行脚に興味があり、5年前に計画してコロナで急遽中止にした悲願の旅であったことは上でも触れたが、コロナ禍もやっと緩和して外国への渡航制限も撤廃され、小生も会員の末席を汚している「雲南懇話会」という会合の代表者である安仁屋政武先生が完歩されたご自身のCamino de Santiago紀行(京都大学学士山岳会ニュースレターNo. 100[2022年2月]所載)を偶々読む機会があつてこれに啓発されてこれは直ちに行くしかないと思い定めて、たまたま泊りに行っていた西宮市在住の旧友と同行二人で行くことに話が纏まって、早速翌日二人でHISの神戸支店に航空券を手配しに行った。今年(2024年)の正月のことであったので、出発の半年前には大筋が決まっていたということになる。

半年間という十分な準備期間がありながら、自転車巡礼の是非・可能性については全く考えが及ばず、従って問題点などが浮かんで来る機会も無かった。現地スペインの自転車レンタル会社にメールで予約を入れてカードで代金支払いを済ませてからは、カミーノ道中のどこでどのような見所を巡るか、見るべき歴史的遺跡はどこか、宿はどこが良いかなどの詮索に始終して、巡る為の足の事は忘却の彼方に消えて一顧だにしなかった。この頃から既にアタマが恍惚の佳境に入っていたと考えざるを得ない。



(古代の巡礼者の様子)

(ii) 自転車を捨てる

スペイン巡礼「フランス人の道」(Camino de Santiago, Camino Francés)の出発点はフランス・スペイン国境を成しているピレネー山脈のフランス側の麓の村 St. Jean Pied de Port (サン・ジャン・ピエ・ド・ポー) である。この辺は独特の言語バスク語と豊かな自然を誇るバスク地方の一角である。

日本からパリに飛び、パリでエールフランス国内線に乗り換えて1時間、ビアリッツ・バイヨンヌという田舎の空港に降り立ち、そこから乗り合いタクシーで1時間のこの村に入った。関空を発ってから乗換便待ち時間なども含めて30時間程掛った。(↓山間に広がるサン・ジャン・ピエ・ド・ポーの村)



山間の土地に郊外は広がっているが、狭い街は城砦に囲まれた中世からの巡礼の宿場町であった。石畳の街を歩いている人々はその殆どが巡礼者か観光客のようだった。



(サン・ジャン・ピエ・ド・ポーの城砦門。宿場町は城砦の中) (Nive 川に架かる古い橋。巡礼は皆この橋からスタート)

さて、ここサン・ジャン・ピエ・ド・ポーに二泊して予約していたレンタルMTB自転車を代理店の店頭で受け取り巡礼の諸準備を整えてCamino Francés 800kmの自転車巡礼旅に意気揚々と出発したのだが・・・。

出発前に日本でのトレーニングは全く何もしなかった。入院や病院通いでトレーニングどころではなかった所為もあるが、せめてMTBの試乗やトレーニングだけはやっておくべきであった。MTBにリアバッグ2ヶを振り分けでぶら下げ、おまけに荷台にはザックを積むとそうでなくても車体の重いMTBは一旦倒れると如何様にもし難い代物であった。おまけに、スタンドなるモノが付いていないので、立木や塀にもたせ掛けるか、さような物が無い路傍では道路脇に転がすしかない代物であった。加えて現地でのレンタルMTBは車高が高い上に、車体の上段のフレームが高い位置にあったので、車体に跨ることすら容易ではなかった。

何しろ生まれて初めて現地で跨った始末であったから、このMTBに乗って走るなどという芸当は至難

の技であった。ギアチェンジの操作も知らず、ちょっとした坂道でも押して歩かねばならない体たらくとなった。当初計画の1日当たりの平均走行距離50kmを平均35km程度に落とすことに変更し、この結果不足する日程はルートの一部を電車利用でカバーすることにしたが、まずは初日のピレネー山脈を越える山坂で疲労困憊、この日の宿泊地であるピレネー山中の国境を越えたスペイン側の町バルカルロス(Valcarlos、出発点のサン・ジャン・ピエ・ド・ポーから僅か11kmしか離れていない!)迄はウネウネと蛇行する車道の山坂道の殆どを自転車を押して歩く羽目になった。大型トラックが猛スピードでビュンビュン追い越して行くイロハ坂を重い自転車を押して歩くのも容易ではなく、車に跳ね飛ばされる恐怖で命が縮んだ。

このバルカルロス集落は教会、アルベルゲ(巡礼宿)、バルがそれぞれ一軒づつしかない小さな集落であった。

泊りは小さなアルベルゲに泊まったが、ここで問題が起きた。スペインではホテル泊り以外でもアルベルゲに泊まる場合でもパスポートの提出を求められるが、相棒のパスポートが仕舞っていたザックから消え失せていて行方不明になっていた。相棒はザックやリアバッグを逆さまにして空にして探したが見つからなかった。オスピタレロ(アルベルゲの世話人)も小生も眼を皿にして探したがどこからも出てこなかった。



(バルカルロスの小さな集落)

このオスピタレロ親切に曰く「今晚はパスポートが無くても致し方なく泊めるが、この先では宿泊にはパスポートが必ず必要になる。従ってすぐ警察に紛失届を出して日本大使館に連絡しなければならない云々・・・」。

相棒は考えられる紛失の原因を種々辿って見たが、確定的な原因には思い当たらなかった。たぶん今朝までの三日間を過ごしたサン・ジャン・ピエ・ド・ポーの何処かに置き忘れたのではなかろうか? いずれにしてもサン・ジャン・ピエ・ド・ポーに引き返して考えられる場所をチェックし、それでも出て来なければパリの在フランス日本大使館に行って再発行してもらいより他に方法が無いということになって、小生は翌日サン・ジャン・ピエ・ド・ポーに引き返した。

この引き返しの道中で自転車巡礼の計画は破局を迎えた。実は、帰りのイロハ坂をよろよろと倒れそうになりながらやつのことで走っていた我がMTBは、後ろから来たトラックの風圧を受けて道路の側溝に叩き込まれて転倒、右足が車体のフレームに挟まれて抜けなくなった。後ろから通りかかったマイカーの若夫婦が態々車から降りてきて自転車ごと引っ張り上げてくれたが、脛の辺りを強打&内出血しているらしくて足がパンパンに張れてきた。助けてくれたご夫婦に心からのお礼を申し上げてビッコを引きながら自転車を押してサン・ジャン・ピエ・ド・ポーに戻ったが、側溝に跳ね飛ばされるくらいならまだしも、この調子で車道を走ると必ず車に轢き殺されるという恐怖心がトラウマとなって自転車に触ることもできなくなった。

(相棒は、自転車走行距離で1日分先のロンセスバージェス(Roncesvalles)というピレネー山脈の峠を越えた向こう側の小集落迄宅急便で送ってあった2人分の荷物をピックアップする必要から今日はロンセスバージェスまで自転車を転がせて登り、翌朝に下り坂を自転車を飛ばしてサン・ジャン・ピエ・ド・ポーに戻って来た)。

彼より1日早くサン・ジャン・ピエ・ド・ポーに引き返して来た小生は、荷物の整理をするために我がザックの中身を広げたところ、なんと紛失した筈の相棒のパスポートが出て来たではないか!? これは如何にや? パスポートは彼の自宅がある兵庫県西宮市の地名が印刷されているポリ袋に入っていたが、小生が間違っってそのようなポリ袋を小生のザックに仕舞うことは考えられないし、また逆に彼がザックを間違っって小生のザックに入れたとは考えにくい。

ただ、一つだけ考えられるのは、スマホのCIMの確認の件で二人でサン・ジャン・ピエ・ド・ポーのスマホ屋を訪問した際に、彼が店長からパスポートの提示を求められ、CIMに関する事で店長とスペイン語で何やらややこしい会話に熱中していたので、返却されたパスポートを小生が一時預かって小生のザックに仕舞ったような記憶もあった。その預かったパスポートを彼に返却するのを忘れてその儘小生のザックの中に残っていた可能性もある。マ、いずれにしてもパリの日本大使館に行かなくて済んだことは不幸中の幸いだった。

扱て、巡礼スタート初っ端の番狂わせのことが長くなったが、重いMTBでの自転車巡礼は相棒もこれ以上続けるのは体力的に無理と判断し自転車を捨てて、歩きに切り替えて再出発することにした。

歩きと言っても我々ご老体、しかも病み上がりの小生は山坂ばかりの巡礼路では1日当たり15km程度が関の山なので(史跡の見学や教会の礼拝にもかなりの時間を要する)、全長800kmにも及ぶ巡礼路をこのスピードで歩けば単純計算でも2ヶ月間ほど掛る計算になる(標準日程では1日当たり約25kmで設定されているので、休養日なども併せて40日間程度で廻るのが目安となっていて、道中の宿場町もほぼこのような日程で歩くように配置されている)。



(重いリアバッグを取り付けた斯様なMTBで走れる訳がない!!)

左様な日程計算からすると、帰路に予約してある飛行機に間に合わせるためには、残り実質2週間程度しかなくなった日程内で終点のサンティアゴまで辿り着くためには、巡礼路最終段階の僅か100km程の区間を1週間程度で歩いて、それまでの700kmは1週間ほど掛けて路線バスを利用して巡拝するという手しか残っていないことが判明した。

左様な訳で、巡礼の足とルートに大きな変更を加えなければならない番狂わせの結果と相成ったが、マ、何とかなるだろうとサンティアゴに向けてサン・ジャン・ピエ・ド・ポーを路線バスで再出発したのであった。路線バスを利用するなどということは日本出発迄は考えたことも無かったので、巡礼路沿いの公共交通機関の事情に関しては全く知識が無かった。このために、路線バス利用上のトラブルが多発したことは後述のとおりである(参考補足資料「スペイン巡礼で留意すべきこと」参照)。

マ、いずれにしても八十路を過ぎた、しかも病気持ちの老人が自転車でカミーノ巡礼をするということ自体が素っ頓狂なことであって、このことに全く思い及ばなかった我々はやはり恍惚の人になっていたに違いない。

道中で会った現地の巡礼者も「歩きカミーノでも80歳を超えたご老体が全行程を一気に歩き通す例は非常に稀である。まして自転車で巡るなどということは前代未聞の馬鹿か気違いというしかない」と軽蔑とも哀れみともつかない口吻で注意してくれたが、まさにその通りであろう。事実、自転車で廻っている若者巡礼でもその8割は同じMTBでも電動付きのMTBに乗っていた。巡礼初っ端の大番狂わせについては長くなったがこの辺で筆を擱いて次頁からは道中記に入ろう。

(iii) 道中折々のことなど

「フランス人の道」はサン・ジャン・ピエ・ド・ポーからピレネー山脈を越えてバスク地方を横断し、麦畑や牧草地が一面に広がるメセタの大地を東西に抜けてガリシア地方に至り、ガリシア自治州の州都サンティアゴ・デ・コンポステラで終わる全長 800km の巡礼路であることは前述した。

サンティアゴ・デ・コンポステラにある大聖堂（カテドラル）はエルサレム、バチカンと共にキリスト教の三大巡礼地であり、世界中から集まって来た巡礼者で賑わっている。この巡礼路 800km の道中には 30 か所強の巡礼地（四国遍路八十八か所の札所に相当）があり、徒歩での通し打ちの巡礼者はこの巡礼地を 1 日に 1 か所ずつ 1 ヶ月間強掛けて巡るのが慣習となっているが、我々は前述した理由で、全行程 800km を自転車の通し打ちで辿るという当初の志と異なり、残念ながら東部の 700km は路線バス利用で 1 週間で辿り、残りの西部の僅か 100km を 1 週間だけ徒歩で辿るという情けない結果となったことも前述したとおりである。

それ故、前者の路線バス利用の行程では各札所の途中にある史跡や見所はその殆どをバスで通過する羽目になったので、例えばパンプローナの街から少し先のナバーラの地を一望できるペルドン峠（「フランス人の道」のシンボルともなっている巡礼者のモニュメントが建ち並んでいる著名な峠）なども通ることができなかったという結果となった。そのようなことから、見落としした著名な史跡や札所も沢山あったが、これはこれで致し方の無いことであった。

左様なことから、ここでは我々が訪れた主要な札所の幾つかを記してお茶を濁すこととしたい。

パンプローナ (Pamplona)

パンプローナはピレネー山脈を越えてから初めての大会で、紀元前にポンペイウスによって築かれたローマ時代から続く由緒ある古代都市である。特に 7 月に開かれるサン・フェルミン祭り（牛追い祭り）が有名で、これはセビージャの春祭り、バレンシアの火祭りとともにスペイン三大祭りに数えられている。祭りの折には、暴れ牛が狭い道路を突き抜けて走る様子が日本の TV などでも放映されるので、ご覧になった皆さんも多いのではなからうか？



(殆どの案内書に載っているペルドン峠のモニュメント)



(パンプローナの古い街並)

パンプローナにはロマネスク時代に造られたという大きなカテドラルがあり、ナバーラ王国時代の国王カルロス三世とその王妃の棺と大理石造りの石像が祀られていた。



(パンプローナのカテドラル)



(カテドラルに祀られたカルロス三世と王妃。下部に棺)

また、パンプローナは、かつて『日はまた昇る』でこの牛追い祭りを世界に紹介したヘミングウェイがマス釣りで滞在していた折に毎日通ったというバル「カフェ・イルーニャ」という老舗バルがあり、かなり高価そうな店であったが寄ってみた。さすがに豪華なバルであった。caña(生ビール) 1杯と一番安価なタパス(おつまみ)を一皿頼みただけで財布が空になった。



(老舗のバル「カフェ・イルーニャ」)



(賑わっている店内)



(今でもヘミングウェイが彼の指定席に座っていた)

🇪🇸 パンプローナからブルゴスまで

パンプローナから次の大都市ブルゴスまでは220km程の距離があり、この間には9ヶ所の札所がある。この間のカミーノはバスク地方を歩く。我々は、この間を1泊2日で路線バスで辿り、途中で巡った札所はログローニョとブルゴスの2カ所だけとなった。

ログローニョはラ・リオハ州の州都であり大きな街だった。小高い丘の上にはサンティアゴ教会がひっそりと建っていたが、正面のファサード上部には白馬に跨った聖ヤコブの荘厳な石像が祀られていた。聖ヤコブは言う迄も無くスペイン・カミーノを象徴する聖人サンティアゴの別名である。教会の尖塔は街中からも良く見えた。

ここの大通りでは、折から何かの祭りのパレードが行われていて大混雑していた。

余談であるが、カミーノの案内標識は下左の写真のような石柱スタイルが一般的であるが、街中では路面にも種々のデザインの標識が埋め込んであった（下中央）。カミーノ標識にはそのシンボルであるホタテ貝のロゴが必ず埋め込まれていたが、黄色い矢印がペンキで一本描かれているだけの標識も多かった（下右側の写真）。



(ログローニョのサンティアゴ教会)



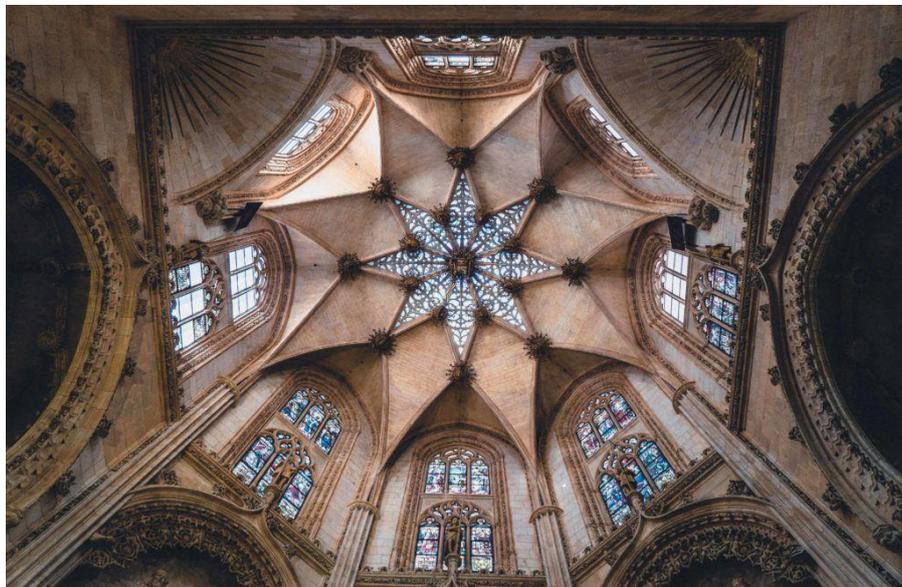
次に立ち寄った札所ブルゴスも大きな街だった。中世からの城下町だそう。この街で目を惹くのは世界遺産にも登録されているサンタ・マリア・デ・ブルゴス大聖堂である。星形に削り貫かれた天井の透かし彫りから差し込む光が荘厳だった。主祭壇と透かし彫りを次ページに掲げた。

(サンタ・マリア・デ・ブルゴス大聖堂⇒)





(サンタ・マリア・デ・ブルゴス大聖堂の主祭壇)



(同上 天井の星型透かし彫り)

今宵の宿は「ノルテ・イ・ロンドレス」というオスタルであった。今回のカミーノでは巡礼第1泊目に泊まったバルカルロスのアルベルゲ (Municipal Albergue Valcarlos) の不便さ (ただ寝るだけの雑魚寝のシロモノ) に凝りて、以降は同じ巡礼宿でもオスタル (旅籠) かホテルに泊まった。

アルベルゲは大部屋に蚕棚のベッドが多いところでは100ベッド以上も並んでいる山小屋風で、個人の空間は無く、シーツがあるだけで各自シュラフ持参が原則という雑魚寝スタイルであるから、



(今宵の宿 ノルテ・イ・ロンドレス)

何をするにも時間と手間が掛る老人には不向きで、また頻尿や病気持ちは同室の他人にも迷惑をかけることも多いし、今更異教徒にキリスト教の教義を講釈されたりするのも煩瑣であるし、宿泊している巡礼者が共同で食事の用意をしたり、ミサの如き礼拝の後に共同で食事をするということも異教徒には煩瑣なことではかないので、アルベルゲでの宿泊はやめて主にオスタルやペンシオン（満員で取れなければホテル）に泊まることにした。

公営アルベルゲの宿泊料は志（寄付、donación）から 10€程度、私営アルベルゲは 10～15€程度、オスタルやペンシオンは 50～80€（ツインルーム 1 室）、ホテルは 100€以上（ツインルーム 1 室）であるから、アルベルゲに泊まるのとオスタルに泊まるのでは、1 ヶ月滞在すれば 1,000€近くの出費増となるが、マ、今後二度とカミーノを歩くこともないだろうから冥途の土産としてお許し願いたい。



（アルベルゲの大部屋の内部）

ブルゴスからメセタの大地へ

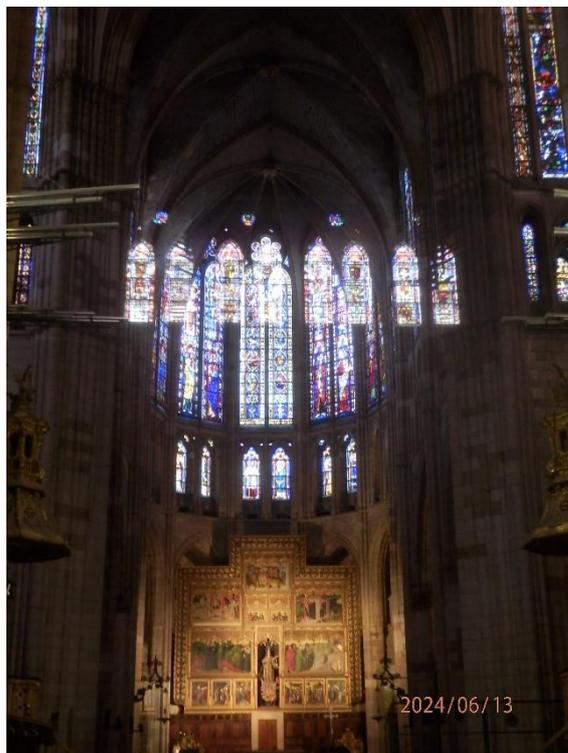
ブルゴスからバスク地方を後にしてメセタの大地に入り、この緑の大地を横断してガリシア自治州への入り口サリア（Sarria）に至る 370km のカミーノには、6 世紀からローマ人が住み着いていたという古都レオンなど 14 ヶ所の聖跡・史跡がある。我々ロートル巡礼はこの道を 2 泊 3 日で路線バスで移動して、レオン、ポンフェラーダ、サリアの 3 史跡を巡った。この区間には見るべき聖跡・史跡も多いが、何しろ路線バスの便が不便で、一旦途中下車すると翌日迄バスの便が無いという田舎であるから、14 聖跡の内 3 聖跡しか巡れなかったのは残念であったが、マ、これも止む得ないことであろう。

さて、レオンは美しいステンドグラスのカテドラルで巡礼者の人気が高い。このカテドラル自身も立派な大聖堂であった。



（レオンのカテドラル、右はその天井を飾るステンドグラス）

レオンは大きな街で、市内遊覧バスが走っていたので試しに乗って見た。どこかのオバタリアンの観光客



が乗り込んできて、聖跡などの建物が見える度に揃ってカメラを向けたりギャアギャア騒いだりして喧しくて堪らなかった。ここレオンにはサグラダファミリア（在バルセロナ）で有名なガウディの設計になる建物が残っていて現在は博物館として使用されているが、期待に反してその展示物はその地方の民具や民俗や工業機械類のガラクタばかりで入場料 6€にしては珍奇な museo であった。



(市内遊覧バス)



(ガウディ設計の建物 Casa Botines、今は博物館)

スペインの街角、特に観光客が大勢集まるカテドラルの入り口では右の写真のような人を沢山見かけた。紙コップや食器などを差し出していたが、服装なども整っていたので見苦しくはなかった。この人はレオンの大きなバスターミナルの玄関口に座っていたが、その風貌は実に堂々としていた。マリアさまの化身かもしれないと思い 1€硬貨を入れさせて頂いた。オバサン曰く “Muchas Gracias, japonés”。

序のことにこのオバサンに “¿Donde está la parada de taxis?” とタクシー乗り場を尋ねたらご親切にも立ち上がってタクシー乗り場迄連れて行ってくれた。

扱て、次の聖地のポンフェラーダの様子は割愛させて頂いて、その次の聖地サリアの情景を少し綴ってみたい。

サリアは、スペイン西部のガリシア地方への入り口に位置する大きな街であった。ガリシア地方に入ると、Xunta de Galicia (シュンタ・デ・ガリシア) という看板が目に入り、公的な看板の全てにこの文言が併載されている。

(例えば右の表示看板⇒)

Xunta de Galicia は「ガリシア自治州政府」を表し、この地方ではスペイン語に加えてこの地方独特のガリシア語も公用語となっていて、看板などには両方の言語が併記されている。



歩いて「フランス人の道」を巡礼する人は、区分打ちでここサリアから終点サンティアゴ迄の 120km ほどのカミーノを 5 日間ほどで歩く巡礼も多い。実は後述するように、カミーノ巡礼の巡礼証明書を貰うためには最低限このサリア～サンティアゴ間 120km を歩いて来たスタンプ（クレデンシャル）が必要であるので、ここから巡礼者が急増するという状況になっている。クレデンシャルというのは聖地の教会や巡礼事務所で貰うスタンプのことであり、これが無いと最後のサンティアゴのカテドラルで巡礼証明書も発行して貰えないし途中のアルベルゲに泊まることもできないという重要なスタンプである。



(スタンプが押されたクレデンシャル、その一部)

サリアでは洗濯や荷物の整理、休養などために Pensión Escalinata というオスタルに 2 連泊した。宛がわれた最上階の 4 階の部屋は設備は古いがベッドが 3 つある大きな部屋で、大きな窓からは下の巡礼路と街が足下に見える落ち着いた部屋だった。1 階はバルになっていてチョイト一杯やるにも便利で良かった。宿のオジサンも陽気でホスピタリティーもなかなか良い宿だった。

余談になるが、バルの客は巡礼や観光客だけでなく、地元のオジサン達の呑み会の場にもなっていて、常連客がご主人相手に朝からビールやワインを楽しんでいることが多い。マ、これもその土地土地の文化であろう。



(二連泊した Pensión Escalinata)

サリアの聖蹟は郊外の小高い台地に散在していたので、巡礼路の急坂を辿るのも草臥れたが、賑やかで騒がしい街中と違って落ち着いた雰囲気まで心が休まった。

坂の途中の Iglesia del Santa Mariña の扉には昔の巡礼者の姿が描かれていた。風雨で消えかかっていたが、周辺の鄙びた情景に馴染んでいて心落ち着くものだった。

この教会もシエスタの時間で閉まっていた。シエスタとはご存じのとおり、スペイン発祥の午後 14～18 時頃迄のお昼寝タイムの慣習で、公的施設、銀行、会社、ホテル、商店、バルなどだけでなく教会や巡礼・観光案内所なども閉店になるので、旅行者には要注である。



(塀に巡礼の姿が描かれた Iglesia del Santa Mariña) (同教会で貰ったクレデンシャル・スタンプ)

サリアには二日間滞在したので、この聖地一帯を歩き回ってみた。キリスト教の旧跡などの故事来歴は信仰心の無い小生如きには理解の外にあったが、それらの重厚な建築物には圧倒された。スペイン・カミーノの歴史的建造物は全て石造りであるが、建築機械も無かった昔に、よくぞ人手だけでかような大きな建造物が造れたものと感心した次第である。主要な構造材の部分は全てアーチ構造で組み立てられていた。

サリアではその他に、Iglesia del Salvador、Monasterio da Magdalena、Miradoiro da Prisión Preventiva、Hospital de San Anton、Fortaleza de Sarria y Torres XIII、などを観て廻った。ここでは聖蹟・史跡名をスペイン語で記したが、これはそれらしき雰囲気を出すためであるので、読者ご自身でスペイン語辞書片手に翻訳されることを望む。史跡の説明板はその殆どがスペイン語表記であったから、辞書片手に読んでみたが、その土地土地の王侯の歴史や地名などばかりが出てきてアタマがそれに付いて行けず誠に往生して草臥れ申した。

最後に記した史跡はサリア城址であるが、崩れた石垣が苔むして荒廃し、かつて三橋美智也が唄った「古城」の雰囲気その儘であった。



(Fortaleza de Sarria y Torres XIIIの荒廃した城址)

サラリア以降のカミーノでは、スペイン国内の高校生や中学生の修学旅行生の団体が急に増えた。スペインの学校は6月下旬から9月初旬までの長い夏休みがあり、この長い夏休みの後で新たな新学年が始まるそうだから、日本の学校でも行われている修学旅行であろう。中学生や高校生の団体はラジオやステレオでポップス?をガンガン鳴らして歩くので、老人組には煩くて堪らなかった。マ、箸が転んでも大笑いする年代だから致し方あるまい。下のようなパフォーマンスを演じている女子学生のグループもあった。



この辺りのカミーノの案内標識には右上のような看板が沢山あった。往古はカミーノ巡礼は徒歩が基本で乗馬も許可されていたが、自転車での巡礼が認められるようになったのは極く最近のことである。近年はマイカーで巡る人も多いらしいが、これはカミーノ巡礼の方法としては正式には認められていないような。馬で巡礼するのは優雅なことと思うが、馬の食料を持参しなければならないこと、馬を繋げるアルベルゲが無くなっている事、馬が途中で草臥れたり斃死することも多いことなどから現在では廃れているようで、今回も乗馬スタイルの巡礼には一人も会わなかった。

さて、レオンを中心とするメセタの大地は、広大な山々の赤土の台地の至る所に緑の畑と牧草地が広がっていて、まるで大きな大地のモザイク模様となっていた。赤土の畑にはトウモロコシの苗が植え付けられたばかりで、牧草地の緑と畑の赤土が程よいコントラストを奏でていた。このメセタの大地を徒歩で巡れば心も洗われるのであろうが、我々は前述の理由で路線バスに乗ったのでこれは叶わなかった。



(緑の海の広大なメセタの大地を行く巡礼者)

ガリシア地方を越えて、いよいよカミーノ終点のサンティアゴ・デ・コンポステーラへ

サリアからサンティアゴまでのカミーノ最後の部分 120km は、次の宿場町ポルトマリンまでは路線バスに乗ったが、ポルトマリンからは歩いて巡った。我が遅速と病気持ちの脚では8日間掛った。30分程歩いた所で大休憩し、また道中のバルで caña (生ビール) などで喉を潤したりしていたので通例の倍の時間を要したが、老齢の我々にはちょうど適した塩梅であった。

サリアからサンティアゴまでのカミーノ最後の部分 120km には 6 つの聖地があり、聖地を追う毎に段々と巡礼者の数が増えてゆき、細い山道では巡礼姿の行列ができていた。



(巡礼の行列、こちらは高校生の修学旅行。)

右写真には子供連れの姿も)

ポルトマリンはダム建設によって湖底に沈んだ村を川岸の高台の上に移築した新しい村であった。教会もダムの底に沈む前に高台に移築された。



(このダムに沈んだ新しい村は画面左の丘陵に移転されている)

(ダム沈没前に移築されたサン・ニコラス教会⇒)



ポルトマリンは近年になってから移転された村だから、街並の建築物が統一されていて綺麗な近代的な町になっていたが、それ故に歴史の古さは感じられなかった。スペインのカミーノの町々のセントロは何れも数百年単位の歴史を持つ古い町並みだったから、重厚な重みを感じたが・・・。



(ポルトマリンは新造の洒落た町ではあったが・・・。地名モニュメントの前で)

ポルトマリンではオスタルが満員で予約できず、オスタルよりも少々高かったがホテルに泊まった。このホテルはダム湖に面していて眺めの良いガラス張りのリゾートホテルで、対応も良かった（ツインルームで1人当たり50ユーロ）。夜はバルに出掛けてガリシアの名物料理とされているブルポ（蛸料理）を喰ってみたが、何の事はない単なる茹で蛸のぶつ切りでがっかりした（日本の呑み屋では500円ほどのものが20€）。



(泊まったホテル Portmarin Star)

バルの話題が出た序に、若干バルのことに触れておきたい。バルは日本で言えば赤提灯の居酒屋で、我々は朝昼晩の食事は概ねバルで済ませた。バルの料理には食事メニューもあるが、一般にはタパス（オツمامイ料理）が多い。お値段は並みのバルではビール1杯3€程度、生ビール（カーニャ）は少し高く4€くらい、ワインは逆に安くて安い物ではグラス1杯2€程度であった。タパスは1皿10～20€くらいのメニューが多かった。バルでは室内の席ではなくて、歩道に張り出しているテント席で涼しい風に吹かれ乍ら通行する巡礼者のあれこれを眺めて一杯やるのがサイコーであった。料理の一皿分の分量が多いので、我々は別々な料理の皿を各人1皿宛注文し、それを二人でシェアして食ったが、分量はそれで充分だった。従って夕食でもアルコール含めて一人当たり15～20€程度で済ませることができた。



バルの客は巡礼者や観光客が多いが、ご近所のオジサン・オバサン連中の溜まり場にもなっていて、朝っぱらからビールやワインを傾けている常連客も多い。

食い気と呑み気の話はこれくらいにして、次に移ろう。

ガリシア地方は雨の多い場所で、真夏でも大体が朝は雨か霧で気温は10℃くらいで寒く皆ダウンを着ていた。午後は晴れば35℃程度まで昇り熱中症となる。気温の日較差が±25℃くらいになるので身体が付いて行かなくて往生した。街角にあった銅像も傘をさしていた（下左写真）。我々も宿を出発する時は大概はポンチョを被らねばならなかったが（下中の写真）、午後からは灼熱のフライパンの底を歩かねばならなかった。



（ハム巻きホタテ貝とサラダ、人物は相棒）



ポルトマリノから先のカミーノは、段々と山間の道となり、狭いトレンチ状になっている箇所もあった（上右端写真）。写真右側の石垣が延々と続いていて、往古からの巡礼路の風格を感じさせた。巡礼が行列状態になっていて通過するのに時間が掛ったが・・・。また、雨の時にはヌルヌルと滑って往生した。

扨て、スペイン巡礼・カミーノについて延々と駄文を綴ってきたが、カミーノの由来について記すのを全く失念していた。マ、このことは、小生には宗教心も懺悔の気持ちも無く、またキリスト教などの西洋の宗教の知識なども全く無いことから、カミーノは単なる異教徒の物見遊山の隠れ蓑に過ぎないという事情に因るが、このことは取敢えずマリアさまにお許し願っておくこととして、全くの受け売りではあるがこの辺でカミーノの由来に触れておくのがマリアさまへの礼儀と言うものだろう。異教徒にとってはちょっと煩瑣な内容の補足記事にはなるが、ご勘弁願いたい。

サンティアゴという名前の都市はスペインだけでなく世界の各地にもあるが、サンティアゴという名

前は元来キリスト十二使徒の一人の名前で聖ヤコブのことを指すが、スペインではサンティアゴという名前で呼ばれている。キリスト教の布教活動が活発になり教徒も増えてきて、イスラム教の脅威になることを恐れた時のユダヤ王はヤコブを迫害・斬首し、ヤコブは十二使徒中最初の殉教者・聖ヤコブとなった。

イスラムの侵略に対抗したイベリア半島では偶々聖ヤコブの墓が現在のサンティアゴ付近の洞窟で発見されたのを機に、キリスト教徒による国土回復運動（レコンキスタ）が行われていたが、イスラム教徒に侵攻されたキリスト教徒の闘いは劣勢だった。折からキリスト勢が壊滅寸前だったクラビッホの闘いで突然白馬に跨り剣を振りかざした聖ヤコブが現れ、イスラム教徒を打ち破ってこの戦いを勝利に導いた。以降聖ヤコブはスペインの守護聖人として祀られることになったそうだ。19世紀後半になってから、現在のサンティアゴのカテドラルの祭壇地下で聖ヨハネの遺骸が発見され、サンティアゴはサンティアゴ・デ・コンポステーラという名前の街になって、サンティアゴはエルサレム、ローマと並ぶ、キリスト教三大聖地となった。



（ログローニョのカテドラル正面に祀られていて白馬に跨って剣を振るう聖ヤコブ像）

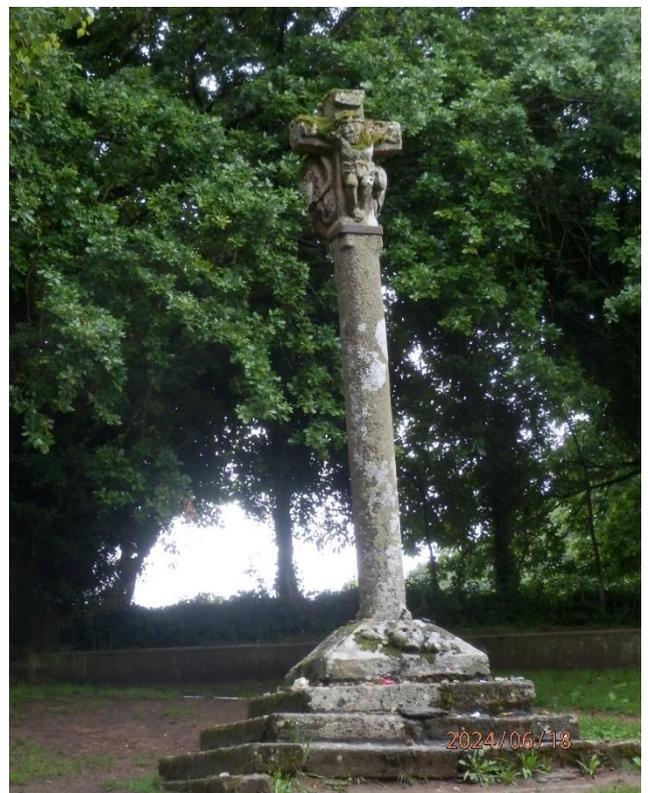
さて、紀行に戻ろう。ポルトマリンからパラス・デ・レイまでのカミーノは山あいの道だった。翌日泊まったベントス・デ・ナロンという集落はアルベルゲ2軒と路傍の小さな教会しかない村であった。牧場があったが、民家は一軒も無かった。それでも路傍には本当に小さな教会があつて、ここを通る巡礼者は必ずこの小さな教会に詣でていた。土間の小さな祭壇にマリア像が祀ってあるだけで礼拝堂も無い教会であったが、皆熱心に詣でていた。



（ベントス・デ・ナロン集落はこのような鄙びた風景）



（路傍の小さな教会にも巡礼者が沢山集まっていた）



（ガリシア地方に多い石の十字架・クルセイロ。キリストの十字架の裏側にはマリア像か十二使徒が彫られている）



(ガリシア地方は霧が多い。遠くに盆地霧が流れていた)



(ポルト・マリムからパラス・デ・レイに向かう山道は鬱蒼と茂った樹林帯の中の石畳の道だった)

ガリシア地方はかつては穀倉地帯であったのか、この辺りの集落には石で作られたネズミ除け構造の立派な穀物倉庫があちこちで見られたが、今は全く使われていないようであった（下左側写真）。



(ネズミ返しが付いた穀物倉庫)



(聖地サンティアゴまで残り 35.9km を示す標識)

ガリシアの地を更に進んで「フランス人の道」巡礼路の最後の札所アルスーアという町を過ぎるとスペイン巡礼カミーノ最終目的地であるサンティアゴ・デ・コンポステーラまで残るは僅か 40km となった。遅速の小生でも徒歩で2、3日間もあれば辿り着く距離である。

この辺りまで来ると流石に「長かったが、もう直ぐ聖地到着か」という感慨が深くなり、カミーノの標識も「もうすぐ聖地サンティアゴ!」と感じさせる標識が増えてきた（上右側の標識<フランス人の道、聖地まで残り 35.9km>など）。また、カミーノの古代の様子を彷彿とさせるような石碑も増えてきて、邪宗門（異教徒）の我々でも何となく「そろそろ気持ちを引き締めて参ろう」という気分になってきたのだった。

その他にも、日本の辻々などに祀られている地蔵尊や道祖神の如き碑も見られた。次ページにそれらの標石や標識を纏めて示しておく（カミーノ巡礼道の路面に埋め込まれている案内標識も）。



(上の二つの石碑は相当古そうだった。刻まれた巡礼姿も風情があって由緒ありそうだった。)

左の碑の黄色ペンキの矢印はカミーノ 道標のシンボルとなっている黄色い矢印。矢印だけでカミーノのルートを示す)



(SAN MARGOS の地名が刻まれていた)



(誰かが祀られている辻の広場に誰かを讃える顕彰碑もあった)



(↑これは何を祀っているのか?)

(路傍に祀られた巡礼者像⇒)



(イタリアの土俗神像○△×?)

話は戻るが、カミーノの方向を示す道案内標識は実に多種多様な標識が設置されていた。基本的には右のような案内標（モホン）が100~200m毎に設置されていてこれを辿って歩けば道に迷うことは無い。黄色矢印の下側には聖地サンティアゴまでの残りの距離が刻まれているので、この数字が段々と減って来るのに勇気づけられて疲れた脚も前に進むというもんだ。

その他にも下の写真のような標識があちこちに設置されていた。



(↑誰かが落書きで巡礼者同士の挨拶である“Buen Camino”の文字を書いていた)



(ホタテ貝の大きな石彫)



(←路傍にあった祠にも黄色の矢印が)



(辻の道標)

(←道標の脇を若いおネエさまがMTBで颯爽と走る)



(路面に埋め込まれた道標。自転車も可)



(路傍に埋め込まれた道標)



(水道のマンホールにもカミーノ印のホタテ貝が)

さて、聖地が近づいてくると、巡礼路上に屋台を出して絵金が入ったホタテ貝やクレデンシャルや巡礼首飾り、十字架などの巡礼用品や巡礼土産などを売る露店も増えてきた。机一つだけの小さな店ではあったが、結構巡礼者が集まっていた。



(最後の聖地も近づいて、巡礼土産の屋台も現れた)

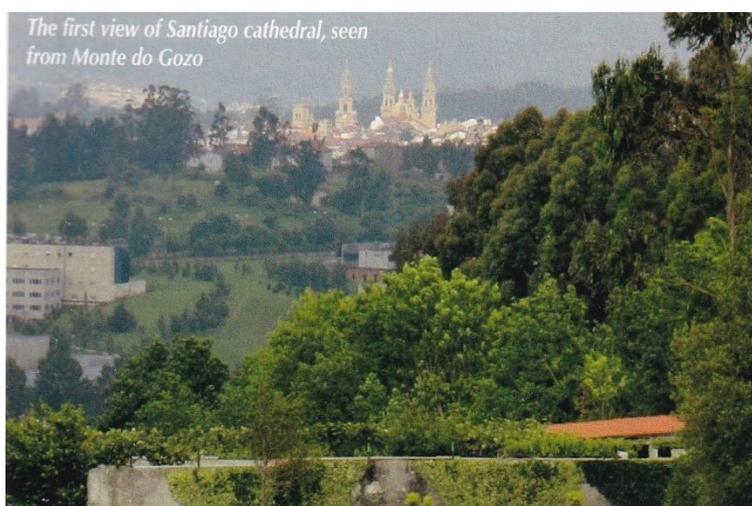
(車に泊まり込んで奥さんが創った首飾りを売り歩くご夫婦)

扱て。

サリアからカミーノ最終目的地である聖地サンティアゴ・デ・コンポステーラまでの残り 120km を 1 週間ほど掛けて歩いて来たが、サンティアゴの入り口に当たる丘陵の台地にモンテ・ド・ゴソという場所があった。ここまでの長い旅路を歩いて来た巡礼者は、この丘に着いて初めてサンティアゴ大聖堂の 3 本の尖塔が目に入り歓喜の声を上げたという故事から「歓喜の丘 (Monte do Gozo、スペイン語では Monte del Gozo)」と呼ばれているそうだ。サンティアゴのセントロまで 5km ほどの地点であった。

付近は Parque Monte do Gozo という公園になっていて、その公園の標識には、“ようこそ” という 歓迎の文言がガリシア語、スペイン語、フランス語、英語、ドイツ語、ポルトガル語の順で刻まれていた。ガリシア語がトップに書かれているのにも、ガリシア人のガリシアへの思いと誇りが感じられた。

この公園の高台には、サンティアゴ大聖堂の尖塔を指さしている二人の巡礼者の銅像が建っていた。長い旅路の果てにやっと聖地のカテドラル尖塔が拝めたという感激が伝わってくるようなモニュメントであった。その指さす先にはサンティアゴの街並と大聖堂の 3 本の尖塔が霞んで見えた。



The first view of Santiago cathedral, seen from Monte do Gozo

(↑モンテ・ド・ゴソの高台からサンティアゴの街並と

大聖堂の 3 本の尖塔を望む)

(←聖地サンティアゴを指す巡礼者のモニュメント像)

邪宗門の異教徒である私には聖地サンティアゴの大聖堂の尖塔を眺めても特段の感激は感じなかったが、キリスト教の巡礼者には格段の想いと感激があったであろうことは想像に難くなかった。また、道中の途中で路線バスに乗ったりはしたが、遙々フランスからピレネー山脈の国境を越えて 3 週間、800km のカミーノをよくぞここまで遙々と巡って来たものだという思いは感じられたのであった。

🇯🇵 いよいよ聖地・サンティアゴ・デ・コンポステーラに到着

日本を出発してから22日目、カミーノ最終目的地の聖地・サンティアゴ・デ・コンポステーラに到着した。上で触れたモンテ・ド・ゴソの丘を聖地に向かって下り始めると、その脇の広大な斜面に大住宅団地のようなニュータウンの如き大団地群が建っていた。これは一体何であろうか。構内には大きな道路が縦横に走っていて、これだけで村一つをなしているような広大な広さであった。モダンなマンションの如き建物が何十棟も並んでいた。建てられていた看板によれば、これは聖地直前の最後の公営アルベルゲで、収容人員800人という巨大な“アルベルゲ団地”であった。よくぞこのようなシロモノを作ったと感心させられたが、流石キリスト教三大巡礼聖地のひとつであるサンティアゴ・デ・コンポステーラの底力を感じさせるものだった。

扱て。

ガリシア自治州の首都サンティアゴは大きな街だった。丘を囲む歴史地区はその殆どが大聖堂や聖地関連の巨大で古色蒼然たる石造りの建造物で満たされていて荘厳で厳肅な雰囲気であったが、逆にセントロ以外の郊外は活発な経済活動や商業活動が行われているような活気に満ちた街だった。下の写真でサンティアゴの街並をご覧ください。大聖堂などについては後述。

(サンティアゴへの入り口にあったキリスト十二使徒像のモニュメント⇒)



(セントロ歴史地区の荘厳な街並。次ページ上側写真の2枚も同様)



(セントロを少し離れるとこのような街並みとなる)

(郊外のスペイン国鉄・サンティアゴ駅とバスターミナル)

さて、サンティアゴに到着してからは何はともあれカテドラルを訪れた。カテドラルは本稿の冒頭に掲げたような壮大な伽藍であった。3本の尖塔は高さが66mもある。この3週間ほど、カミーノの各地でカテドラル（大聖堂）やイグレシア（教会）は見飽きるくらい見歩いて来たが、ここサンティアゴの大聖堂の荘厳さと重厚さには言葉も出ないほど圧倒されて、ただポカンと口を開けて眺めるだけだった。余りにも巨大なので首が痛くて見上げ続けることもできない程だった。

カテドラルの広場は世界各地から集まった巡礼者で溢れていた。



(全て石造りのカテドラルには、このような巨大な建物をよくぞ造ったものと圧倒された)

カテドラルの内部も参詣者で満員であった。たまたま入った時刻がミサが始まる直前の時刻であったからミサ参列信者の人波に押されて外に出るに出られず、また満席の礼拝椅子に座ることもできず後方の土間の床に1時間ほど座ってミサ参拝の真似事をしていたが、お陰様で生まれて初めてミサなるモノを体験させて頂いた。ミサが始まる前のパイプオルガンの響きにも合唱隊の歌にも荘厳な響きがあって邪宗門の異教徒にも心に響くものがあったと思いたい。



(大混雑の主祭壇礼拝堂)

ミサはスペイン語でなされたし、聖書の一字一句も読んだことのない小生には“アレルヤ、アレルヤ、アーレルヤ、アーメン・・・”という文言しか聞き取れなかった(スペイン語ではhの文字はサイレントになって発音されないので、英語のハレルヤがアレルヤとなる)。神父が唱える文言に従って参列者が起立して唱和したり聖歌を合掌したりする場面が何回かあったが、邪宗門異教徒の小生は般若心経を口の中で唱えていた。マ、宗旨は異なるが、たぶん唱えている内容は似たようなものだろうから、この大聖堂に祀られている聖ヤコブさまもお許し下さるのではなかろうか。

ミサの最後には神父が礼拝堂内を廻って聖水を撒き、白くて丸いホスチアとか言う小さな煎餅(食べると聖体となる小さな煎餅様のパン)を配った。小生も一枚口に入れて貰った。何の味もしない煎餅であった。後で聞くと、ホスチアだけは洗礼を受けていない人は頂けない聖体であるそうで、これは大失敗だった。彼岸に行った折にキリストさまから大目玉を喰らうのではなかろうか。少しでも罪を軽くして頂く為に、喜捨袋を持って廻って来た係の人に一枚を喜捨しておいた。



(大聖堂でのミサに参拝した人々 引用出典：同大聖堂 HP)



(ミサの様子 引用出典：同大聖堂 HP)

ミサが終わってから、祀ってある聖ヤコブの像の裏側に廻ってその背中に抱き付いてきた。これは“抱き付きヤコブ”と呼ばれていて格別のご利益があるそうで、祭壇の裏の暗くて細い回廊に出来た長い行列に押されて動きがとれなくなったが、30分ほど並んで待って何とか抱き付くことができた(次ページ写真参照)。本当は同じ抱き付くなら聖マリアさまの方に抱き付きたかったのだが・・・。

この聖ヤコブが祀られている主祭壇の地下には聖ヤコブの遺骸が安置されているそうで、是非ともご遺骸にお目に掛かりたくて地下道への入り口を探したが地下への階段が発見できず残念だった。やはり面白半分の不埒な異教徒の輩にはお会いにならないのかも知れない。 — 29 —



(↑主祭壇に祀られている聖ヤコブ像。

祭壇の裏側に廻ってこの背中に抱き付く)

(←生ヤコブ像が祀られている主祭壇

一番下の白い祭壇に祀られているのが聖ヤコブ像)

大聖堂の建築物や外壁の石彫、内部の祭壇・装飾はいくら語っても語り尽くせない程の圧巻で、とても小生如きの筆では歯が立たないので、大聖堂についてはこの辺で一旦筆を擱くこととしたい。

大聖堂の広場にはいろいろな種類の人々が集まっていた。外国からの巡礼客も西欧、東欧、北欧、米国、オーストラリア、韓国などからの巡礼者が多かったようだ。国内からの観光客や修学旅行生、地元の小学校の生徒の団体も多かった。独特の服装をした巡礼者や喜捨を望む人々も沢山見かけた。



サンティアゴには4連泊して、セントロを歩いたり、大西洋岸のもう一つの聖地フィステーラ岬を往復したりした。サンティアゴの市街は朝から35℃くらいの猛暑で歩き回ると熱中症状状態になったが、もう二度と来ることはあるまいと気合を入れて歩き回った。

セントロでは、博物館を2カ所見学した。ひとつはカテドラル付属の大聖堂博物館で、こちらは主にカテドラルやカミーノ巡礼関係の展示が主だった。もう一つは、ガリシア州立のサンティアゴ巡礼博物館で、こちらの方はガリシア地方の民俗、歴史、慣習、産業なども展示されていた。



(サンティアゴ大聖堂博物館)



(サンティアゴ巡礼博物館)

もう一つの聖地フィステーラ岬は、サンティアゴから西に向かって85kmの位置にある。かつてはカミーノの終着点はサンティアゴではなく、このフィステーラ岬であったそうで、今はこのサンティアゴ～フィステーラ岬間のカミーノはCamino Finisterreと呼ばれるサブルートとなっている。サンティアゴから徒歩で巡礼すれば普通は片道3日間の行程であるが、今回は路線バスで日帰り往復して来た。この日は天候が悪く、サンティアゴを出た途端に深い霧と雨に見舞われ、バスも視界が全く無い道路をやっと2時間半もノロノロ運転してフィステーラ岬に着いた。バス停からフィステーラ岬にある聖地までは4km程の海沿いの坂道であったが、ホワイトアウトで大西洋は全く霧の中だった。晴れていれば大西洋の対岸に米国ニューヨークの摩天楼が見える筈だったのだが・・・(?!)。

途中にサンタ・マリア教会があったので参拝した。



(筆者が指している方角がニューヨーク)



(サンタ・マリア教会 親切な教会守のオバサンが居た) — 3 1 —



(聖地フィステーラ岬の突端に立つ十字架) (フィステーラ岬の灯台。左下の海が大西洋。NY が震んで見えた?!)

フィステーラ岬を往復した翌日、スペイン巡礼最後の習慣となっている「巡礼証明書」を貰うために大聖堂の境内にある巡礼事務所に早朝から並んだ。ガイドブックや先人の紀行文によれば、この証明書を貰う為には申込から取得まで半日～1日間かかるということが喧伝されていたが、今では巡礼事務所でのこの証明書発行事務作業もコンピュータ化されていて、行列に並んでから証明書を受け取る迄たったの30分間も掛らなかった。

申し込みは、別室に置いてあるパソコンの入力画面からルート、出発地・出発日、到着地・到着日、足の種類（徒歩か馬か自転車か）、氏名、国籍などをセルフで入力すれば、入力が終わった途端に発行係の机に置かれているプリンターから自動的に証明書がプリントアウトされているという寸法になっていた。後はパソコンから打ち出された受け付け票の番号が表示された発行窓口に行って、形だけのクレデンシャル・スタンプのチェックを受ければそれでOKとなった。

証明書には、「巡礼証明書」と「巡礼距離証明書」の二種類があった。前者は“単に巡礼に来た”ことだけの証明であり（発行手数料無料）、後者は“全行程を巡礼した”という証明（発行手数料3€）であった。

ご丁寧にも証明書を収納する紙筒まで用意してあった（2€）。

(こちらは前者の証明書⇒)





(こちらは後者の証明書。全行程踏破距離 779km、出発地・出発日、ルート、到着日も記載されている)

恥ずかしながら、巡礼者の真似をしてこの証明書2通をヒケラかして大聖堂前広場で記念写真を撮ってみたのが下左側の写真である。誠に馬鹿丸出しでお恥ずかしい限りである。

日本を出発して1ヶ月弱、念願のスペイン・カミーノ巡礼は終わった。冒頭でも触れたように、今回の道行は業病三病の爆弾を抱えての巡礼行であったが、何とか無事に悲願を達成することが出来た。これは同行の相棒が口には出さなかったが、常に拙者の体調を監視してくれていたお蔭であった。末尾ながら彼に心からの感謝を申し上げて本稿を閉じることとしたい。合掌。(2024/07/27 記)



(左：恥ずかしながら)
(右：相棒と固い握手をして感謝の意を。涙が出て来た)

この駄文に最後までお付き合い頂きまして有難うございました。感謝申し上げます。
今後カミーノ巡礼を計画される方々のご参考までに補足参考資料を以下に掲載しました。

¡Muchas Gracias! ¡Buen Camino y Buen Viaje!

【ご参考】（補足資料等）

スペイン巡礼計画作成のご参考までに、煩瑣にはなるが、下記の補足事項を掲げておく。

■スペイン巡礼で注意すべきこと

■巡礼の時期■

最適は5月、6月、9月。但し6月は修学旅行生で宿が混む。冬場は閉鎖中の宿が多いので不適。
7~8月の真夏は灼熱地獄。上記の3ヶ月は高地の朝夕は雨・霧が多く、防寒着のダウンが必要。

■宿の確保■

- ①公営巡礼宿(Municipal Albergue) : 13時くらい迄に到着すればベッドが確保できる。予約は不可の宿が多い。安価(喜捨程度~15€)。宿泊にはクレデンシャルの提示要。
- ②私営巡礼宿(Private Albergue) : 予約可の宿もあるが、通例は当日の早着順で満席になっている。15~20€程度。Albergueでの宿泊は公営、民営を問わず大部屋。山小屋程度。シュラフ持参要。
- ③老人にはHostal、Pensión(民宿、個室)が最適であるが、セントロの安宿から順番に満室になるので、最盛期には確保困難。通例は前日程度での電話予約では確保できない。行き当たりばったりの巡礼は数日先の予定は立たないので、当日の早出早着で空いている宿を探すしかない。
小生は前日夕方に翌日の宿を電話で予約することを基本にしたが、10軒に電話してやっと郊外にある不便な1軒が予約できるという程度であった。
- ④Hotel : 混んでいる上に高価である(シングルで100€、ツインで200€程度以上)

■巡礼関連の宿や店で通用する言語■

物の本では殆ど英語が通用すると書かれているが、実際にはスペイン語しか通用しない場合が多い。一般人はスペイン語のみ。但し、巡礼案内事務所では英語が通じる所も多い。

例えばバスク地方やガリシア地方では、同じスペインであってもその地方独特の言語(スペイン語とは全く異なる言語。バスク語やガリシア語)も使用されているので、要注意。

■シエスタ(昼寝)の習慣■

殆どの宿、店、銀行、教会、巡礼事務所などではシエスタがあるので、14時頃から18時頃までは閉店となっている。必要な用事は午前中に済ませるようにすること。また、週末には閉店する店も多い。

■宿の施錠閉門■

通例は宿の玄関が常に施錠されている宿が多い。玄関前でインターホンを押すか、電話で連絡すれば開錠してくれる。

■道中の途中で路線バスを利用する際の注意事項■

カミーノ巡礼をオール徒歩で巡れば申し分ないが、何かの関係で途中の一部を路線バスなどで移動しなければならなくなることもある。巡礼路沿いに路線バスが走っている区間はさほど多くはないが、それでも大きな都市間であれば路線バスが運行されている（但し、巡礼路の殆どは山間部の山道であるから、札所がある集落によってはバスが通らない道であったり、バス停が無い所であったりするので事前に運行バス会社のホームページなどでチェックしておくことが肝腎である）。

我々が路線バスを実際に利用して気が付いた点を以下に記してご参考に供したい。

- ① 利用者数が少ない路線では便数も少ない（1~2便/日）ので要注意。
- ② 大きな街にはバスターミナルがあり、各バス会社のインフォメーションや切符販売の窓口も設置されているが、窓口はあっても概して閉まっていることが多い。切符の自動販売機が設置されているバスターミナルもあるが、販売機は各バス会社専用の機械であることが多く、また地元の特定の交通カードしか使えなかったり、紙幣が使えない場合も多い。画面の表示がスペイン語のみの機械もあるので、画面操作にウロウロと迷うことも多い。
- ③ バスの発車時刻が前後することは多いが、切符販売窓口や自動販売機では乗車予定の当該バスの発車時刻を過ぎると、バスが未だ到着していなくても切符は一切販売しないので要注意。
- ④ 切符の購入場所が窓口なのか、自動販売機なのか、或いは乗車時に運転手から買うのか等は路線や運行バス会社によってバラバラであるので、まずは切符を購入するのも一苦勞となる。
例えば、切符販売の窓口が閉まっていたり、自動販売機が故障したりして切符が買えない場合でも、運転手が販売しないことになっている路線やバス会社では運転手からは絶対に買えないので、要注意である。
- ⑤ 窓口に掲示されているバス情報（時刻表など）には古いものや間違っているものもあるので、余り信用できない。窓口のオープン時間も掲示どおりにオープンしていない窓口が多い。特にシエスタ時間は要注意。
- ⑥ 座席定員以上には切符を売らない路線があるので、要注意。
- ⑦ 長距離バスの一部を除き、自転車は併載できない。（国鉄の電車は載せられるらしい）
- ⑧ 停留所に着いても、停留所名のアナウンスが無い場合が多いので、乗り過ごしに要注意。

■荷物の次の宿までの宅急便搬送サービスについて■

徒歩で1ヶ月間も歩くためにはザックの中身も相当に重くなる。そのために、当日の道中で必要となる最小限の装備（貴重品や飲料水など）以外の装備は宅急便で次の泊り地まで配達してもらうことができる。指定する場所に配達してくれる。次の宿が決まっていな場合には、その町の代表的な公営アルベルゲ宛に送って貰って、そこでピックアップすればよい。

出発時の荷物は大概朝8時頃までに宿泊所が指定する場所（通例はロビーなど）に出しておけば、宅急便会社がピックアップして夕方までには指定の場所まで配達してくれる。配達料は一律で1ヶ当たり4€。送付状の封筒が宿に用意されているので、送付主名と送付宛先を記入し、配達料4€を封入して所定の場所に置いておけばよい。この宅急便サービスは高齢巡礼者には便利なものである。

■現地ATMでのユーロ・キャッシュ引き出しについて■

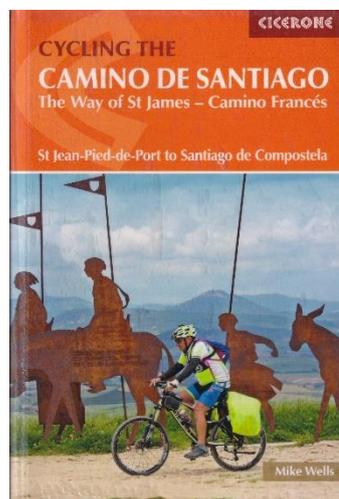
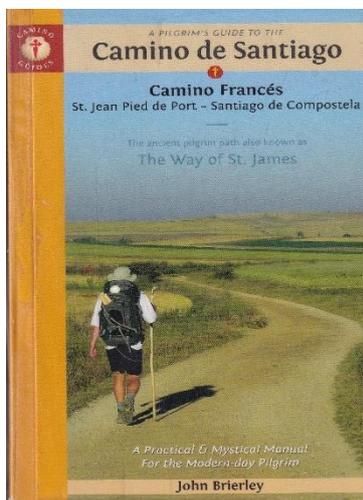
VISAカードなどのクレジットカードで現地のATMからユーロのキャッシュを引き出すこと（キャッシング）は不可能ではないが、クレジットカードを発行している日本の金融機関と現地ATMを運営している現地の銀行の提携関係によって、キャッシング不可の場合が多いので、必要なキャッシュは日本から持参しておいた方が賢明である。なお、ショッピングは大抵はOKである。— 35 —

■参考図書、ガイドブック、ホームページ情報など

●ガイドブック類

(下記の John Brierley のガイドブックが世界的バイブルとなっていて、世界中から集まる巡礼者の8~9割がこの本をガイドブックとして巡礼していると言われている)

A Pilgrim's Guide to the Camino de Santiago John Brierley 著 英国 CAMINO GUIDES 社刊
Cycling the CAMINO DE SANTIAGO The Way of St. James M. Wells 著 英国 CICERONE 社刊



聖地サンティアゴ巡礼 日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会著、ダイヤモンド者刊
スペイン サンティアゴ巡礼の道 高森玲子著、実業の日本社刊

(上記の日本語ガイドブックは大まかな巡礼概要の把握に足る程度で、実際の巡礼情報には欠ける)

●公開 Web サイト

日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会 HP <https://camino-de-santiago.jp/>

CAMINO WAYS <https://caminoways.com/>

CAMINO SANTIAGO ROUTES ~Information, Stages, Map and Points of Interest~
<https://www.pilgrim.es/en/routes/>

Catedral de Santiago <https://catedraldesantiago.es/>

●紀行文など

安仁屋政武「サンティアゴ巡礼ーフランス・ルート」

京都大学学士山岳会ニュースレターNo. 100 (February 2022) 所載

実際に完歩された巡礼者による味わい深い紀行文で、現実の巡礼の諸相にも切り込まれているので、今後巡礼を計画する人々には良い参考資料となろう。

●巡礼用地図

地域毎に市内マップなどが用意されているが、これらの地図は大まか過ぎて実際にカミーノを辿ったり、教会やアルベルゲなどの特定の場所を探す場合には適さない。

スマホで地図を見て歩いている人が多い。

■巡礼路「フランス人の道 (Camino Francés)」の詳細ルート図

(引用出典 : Xunta de Galicia パンフレット)



■「フランス人の道」徒歩での標準日程及び宿場一覧表

参考資料

歩行 33日以内

「日本がー）・デ・サンティアゴ友の会」HPヨリ

表：施設名略号一覧

- A (Albergue) アルベルゲ A：有/軒数
- H/C (Hotel/Hostal) その他宿泊施設
- R (Restaurante) レストラン
- B (Bar) バル
- S (Supermercado) 食料品店
- F (Farmacia) 薬局
- M (Medico) 病院（医療施設）/医者
- € (Euro) ATM

Day #.
↓
Camino Francés

| Etapa (Km) | Km | Km (別ルート) | 地名 | 標高 | 累積 | A | H/C | R | B | S | F | M | € | 残存距離 | |
|---------------|------|-----------|--------------------------------------|-------|-------|----|-----|---|---|---|---|---|---|-------|-------|
| 1 (24.2km) | 0.0 | 0.0 | Saint-Jean-Pied-de-Port ↓ Francia | 200 | 0 | 16 | 12 | R | B | S | F | M | € | 766.2 | |
| | 5.0 | | Hont | 500 | 5.0 | 1 | | R | B | | | | | 761.2 | |
| | 2.6 | | Orisson | 795 | 7.6 | 2 | | R | B | | | | | 758.6 | |
| | 8.6 | | Collado de Bentartea | | 16.2 | | | | | | | | | 750.0 | |
| | 4.0 | | Collado de Lepoeder | 1,430 | 20.2 | | | | | | | | | 746.0 | |
| | | 8.2 | Améguy | | | | 1 | | | | | | | | |
| | | 3.2 | Valcarlos | | | | 1 | 3 | R | B | S | | | | |
| 2 (21.4km) | | 10.6 | Puerto de Ibañeta | 1,060 | | | | | | | | | | | |
| | 4.0 | 1.4 | Roncesvalles España ↓ Navarra | 950 | 24.2 | 1 | 4 | R | B | S | | | | 742.0 | |
| | 2.8 | | Burguete | 890 | 27 | | 6 | R | B | S | | | | 739.2 | |
| | 3.7 | | Espinal | 870 | 30.7 | 2 | 4 | | | | | | | 735.5 | |
| | 5.0 | | Bizkarreta | 780 | 35.7 | | 6 | | | | | | | 730.5 | |
| | 1.9 | | Linzoáin | 760 | 37.6 | | 2 | | | | | | | 728.6 | |
| | 8.0 | | Zubiri | 525 | 45.6 | 6 | 1 | R | B | S | F | M | € | 720.6 | |
| 3 (20.4km) | 2.8 | | Ilarratz | | 48.4 | 1 | | | | | | | | 717.8 | |
| | 2.7 | | Larrasoaña | 495 | 51.1 | 3 | 4 | R | B | S | | | | 715.1 | |
| | 0.6 | | Akerreta | 530 | 51.7 | | 1 | | | | | | | 714.5 | |
| | 3.1 | | Zuriaín | 480 | 54.8 | 1 | | R | B | | | | | 711.4 | |
| | 2.1 | | Irotz | 470 | 56.9 | 1 | | | B | | | | | 709.3 | |
| | | | (分岐) | | 56.9 | | | | | | | | | | 709.3 |
| | | | Huarte | | 56.9 | | 2 | R | B | S | F | M | € | 709.3 | |
| 4 (23.9km) | 4.7 | | Trinidad de Arre | 410 | 61.6 | 1 | | | | | | | | 704.6 | |
| | 0.4 | 1.6 | Villava | | 62 | 1 | 2 | R | B | S | F | M | € | 704.2 | |
| | 1.1 | | Burlada | | 63.1 | | 3 | R | B | S | F | M | € | 703.1 | |
| | 2.9 | | Pamplona | 450 | 66 | 7 | 15 | R | B | S | F | M | € | 700.2 | |
| | 4.9 | | Cizur Menor | 465 | 70.9 | 2 | | R | B | S | F | M | € | 695.3 | |
| | | | Zizur Mayor | | 70.9 | | 3 | R | B | S | F | M | € | 695.3 | |
| | 6.1 | | Zarriegui | 625 | 77 | | 1 | | | S | | | | 689.2 | |
| 5 (21.6km) | 2.3 | | Alto del Perdón | 750 | 79.3 | | | | | | | | | 686.9 | |
| | 3.5 | | Uterga | 495 | 82.8 | 2 | 1 | R | B | S | | | | 683.4 | |
| | 2.7 | | Muruzábal | 440 | 85.5 | 2 | 1 | R | B | | | | | 680.7 | |
| | 1.8 | | Óbanos | 415 | 87.3 | 2 | 3 | R | B | S | | | | 678.9 | |
| | 2.6 | | Puente la Reina | 345 | 89.9 | 6 | 7 | R | B | S | F | M | € | 676.3 | |
| | 4.8 | | Mañeru | 450 | 94.7 | 1 | | R | B | S | | | | 671.5 | |
| | 2.7 | | Cirauqui | 495 | 97.4 | 1 | | R | B | S | F | M | € | 668.8 | |
| 6 (21.3km) | 5.7 | | Lorca | 460 | 103.1 | 2 | 2 | R | B | S | | | | 663.1 | |
| | 4.6 | | Villatuerta | 420 | 107.7 | 1 | | R | B | S | | | | 658.5 | |
| | 3.8 | | Estella | 450 | 111.5 | 7 | 15 | R | B | S | F | M | € | 654.7 | |
| | 1.8 | | Ayguí | 510 | 113.3 | 1 | | R | B | S | F | M | € | 652.9 | |
| 6 (21.3km) | 0.9 | | Monasterio de Irache | 510 | 114.2 | | | | | | | | | 652.0 | |
| | 1.4 | 2.0 | Irache | | 115.6 | | 1 | R | B | | | | | 650.6 | |
| | 3.2 | | Azqueta | 495 | 118.8 | | 1 | | B | | | | | 647.4 | |
| | 1.8 | | Villamayor de Monjardín | 675 | 120.6 | 2 | 1 | R | B | S | | | | 645.6 | |
| | 12.2 | | Los Arcos | 450 | 132.8 | 4 | 8 | R | B | S | F | M | € | 633.4 | |

| Etapa (Km) | Km | Km (別ルート) | 地名 | 標高 | 累積 | A | H/C | R | B | S | F | M | € | 残存距離 |
|----------------|------|-----------------|---|-------|-------|---|-----|---|---|---|---|---|---|-------|
| 7 (27.6km) | 6.8 | | Sansol | 490 | 139.6 | 2 | 1 | R | B | S | F | M | € | 626.6 |
| | 0.8 | | Torres del Rio | 475 | 140.4 | 2 | 1 | R | B | S | | | | 625.8 |
| | 10.4 | | Viana La Rioja | 470 | 150.8 | 3 | 4 | R | B | S | F | M | € | 615.4 |
| | 9.6 | | Logroño | 380 | 160.4 | 8 | 14 | R | B | S | F | M | € | 605.8 |
| 8 (29km) | 12.4 | | Navarrete | 520 | 172.8 | 7 | 5 | R | B | S | F | M | € | 593.4 |
| | | | Sotes | 582 | 172.8 | 1 | 3 | R | B | S | F | M | € | 593.4 |
| | 6.6 | | Ventosa | 635 | 179.4 | 1 | 2 | R | B | S | | | € | 586.8 |
| | | | Aleson | | 179.4 | | 1 | R | B | S | | | | 586.8 |
| | 10.0 | | Nájera | 485 | 189.4 | 4 | 6 | R | B | S | F | M | € | 576.8 |
| 9 (20.7km) | 5.7 | | Azofra | 550 | 195.1 | 1 | 2 | R | B | S | F | M | € | 571.1 |
| | 9.2 | | Ciruena | 740 | 204.3 | 2 | 2 | | B | | | | | 561.9 |
| | 5.8 | | Santo Domingo de la Calzada | 640 | 210.1 | 2 | 9 | R | B | S | F | M | € | 556.1 |
| 10 (22km) | | | Ermita de Carrasquedo | | 210.1 | 1 | | R | B | | | | | 556.1 |
| | 6.5 | | Grañón ↓ Castillo y Leon | 725 | 216.6 | 2 | 4 | R | B | S | F | M | € | 549.6 |
| | 3.9 | | Redecilla del Camino | 740 | 220.5 | 2 | 1 | R | B | S | | | | 545.7 |
| | 1.6 | | Castildelgado | 770 | 222.1 | 1 | 1 | R | B | S | | | | 544.1 |
| | 2.0 | | Viloria de Rioja | 796 | 224.1 | 2 | 1 | | | | | | | 542.1 |
| | | | Quintanilla del Monte | | 224.1 | | 2 | | | | | | | 542.1 |
| | 3.4 | | Villamayor del Río | 790 | 227.5 | 1 | | R | B | | | | | 538.7 |
| | 4.6 | | Belorado | 765 | 232.1 | 7 | 7 | R | B | S | F | M | € | 534.1 |
| 11 (23.9km) | 4.8 | | Tosantos | 822 | 236.9 | 2 | | | B | | | | | 529.3 |
| | 1.9 | | Villambistia | 860 | 238.8 | 1 | 1 | | B | | | | | 527.4 |
| | 1.6 | | Espinosa del Camino | 900 | 240.4 | 2 | | | B | | | | | 525.8 |
| | 3.6 | | Villafranca Montes de Oca | | 244 | ② | ④ | R | B | S | | | | 522.2 |
| | 12.0 | | San Juan de Ortega | 1,000 | 256 | 2 | 1 | R | B | | | | | 510.2 |
| 12 (25.8km) | | | Santovenia de Oca | | 256 | 1 | | R | B | | | | | 510.2 |
| | 3.6 | | Agés | 960 | 259.6 | 2 | | R | B | S | | | | 506.6 |
| | 2.5 | | Atapuerca | 1,050 | 262.1 | 3 | 3 | R | B | S | | | | 504.1 |
| | | 2.7 | Olmos de Atapuerca | | | 1 | 2 | R | B | S | | | | |
| | | | Alto de Atapuerca | 1,074 | | | | | | | | | | |
| | 6.2 | | Cardeñuela Riopico | 930 | 268.3 | 3 | 1 | R | B | | | | | 497.9 |
| | 2.0 | | Orbaneja Riopico | 910 | 270.3 | 1 | 1 | R | B | | | | | 495.9 |
| | 3.6 | | Villafria (分岐) | | 273.9 | | 3 | R | B | S | F | M | € | 492.3 |
| | 4.8 | Castanares | | | | 1 | R | B | S | | | | | |
| | | Fuentes Blancas | | | | 1 | R | B | | | | | | |
| | 7.9 | 7.2 | Burgos | 866 | 281.8 | 4 | 12 | R | B | S | F | M | € | 484.4 |
| 13 (21km) | | | Villalbilla de Burgos | | | | 2 | R | B | S | F | M | € | |
| | 11.5 | | Tardajos | | 293.3 | 3 | 1 | R | B | S | F | M | € | 472.9 |
| | 1.9 | | Rabé de las Calzadas | | 295.2 | 1 | 2 | | B | | | | | 471.0 |
| | 7.6 | | Hornillos del Camino | 830 | 302.8 | 3 | 2 | R | B | S | | | | 463.4 |
| 14 (19.9km) | | 5.7 | San Bol | | | 1 | | | | | | | | |
| | 10.5 | 4.8 | Hontanas | 970 | 313.3 | 4 | 3 | R | B | S | | | | 452.9 |
| | 5.6 | | Convento de San Anton | | 318.9 | 1 | | | | | | | | 447.3 |
| | 3.8 | | Castrojeriz | 820 | 322.7 | 8 | 6 | R | B | S | F | M | € | 443.5 |
| 15 (24.7km) | | | Itero del Castillo (分岐) | | | 1 | | R | B | S | | | | |
| | 9.0 | 1.1 | Ermita de San Nicolas de Puente Fitero | | 331.7 | 1 | | | | | | | | 434.5 |
| | 1.8 | | Itero de la Vega | 769 | 333.5 | 4 | | R | B | S | | | | 432.7 |
| | 8.2 | | Boadilla del Camino | 780 | 341.7 | 4 | 1 | | B | S | | | | 424.5 |
| | 5.7 | | Frómista | 787 | 347.4 | 5 | 3 | R | B | S | F | M | € | 418.8 |

(2/5)

| Etapa (Km) | Km | Km (別ルート) | 地名 | 標高 | 累積 | A | H/C | R | B | S | F | M | € | 残存距離 |
|----------------|------|----------------|--------------------------------------|-------|-------|----|-----|---|---|---|---|---|-------|-------|
| 16 (18.8km) | 3.4 | | Población de Campos | 780 | 350.8 | 2 | 1 | R | B | S | | | | 415.4 |
| | 3.6 | | Revenge de Campos | | 354.4 | | | | B | | | | | 411.8 |
| | | 4.2 | Vilovieco | | | | | | | | | | | |
| | 2.1 | | Villarentero de Campos | 790 | 356.5 | 1 | 1 | | B | | | | | 409.7 |
| | 4.1 | 6.7 | Villalcázar de Sirga | 809 | 360.6 | 2 | 4 | R | B | S | | | | 405.6 |
| 17 (26.3km) | 5.6 | | Carrión de los Condes | 830 | 366.2 | 3 | 5 | R | B | S | F | M | € | 400.0 |
| | 17.2 | | Calzadilla de la Cueva | 854 | 383.4 | 2 | 2 | R | B | S | | | | 382.8 |
| | 6.2 | | Ledigos | 873 | 389.6 | 2 | | R | B | S | F | M | € | 376.6 |
| | 2.9 | | Terradillos de los Templarios | 880 | 392.5 | 2 | | R | B | | | | | 373.7 |
| 18 (23.2km) | 3.4 | | Moratinos | 860 | 395.9 | 2 | | R | B | | | | | 370.3 |
| | 2.6 | | San Nicolás del Real Camino | 842 | 398.5 | 1 | | R | B | | | | | 367.7 |
| | 6.9 | | Sahagún (分岐) | 820 | 405.4 | 3 | 9 | R | B | S | F | M | € | 360.8 |
| | | | Calzada del Coto | | | 1 | | R | B | S | | | | |
| | 10.3 | | Bercianos del Real Camino | 850 | 415.7 | 4 | 2 | R | B | S | | | | 350.5 |
| 19 (26.3km) | | 8.4 | Calzadilla de los Hermanillos | | 415.7 | 2 | 1 | R | B | S | | | | 350.5 |
| | 7.4 | | El Burgo Ranero | 880 | 423.1 | 2 | 4 | R | B | S | F | M | € | 343.1 |
| | 13.0 | | Reliegos | 820 | 436.1 | 5 | 1 | | B | S | | | | 330.1 |
| | 5.9 | 23.8 | Mansilla de las Mulas | 795 | 442 | 3 | 5 | R | B | S | F | M | € | 324.2 |
| | | | Mansilla Mayor | | | | 1 | | B | S | | | | |
| 20 (18.5km) | 4.6 | | Villamoros de Mansilla | 800 | 446.6 | | | | | S | | | | 319.6 |
| | 1.4 | | Puente Villarente | 805 | 448 | 2 | 2 | R | B | S | | | | 318.2 |
| | 4.4 | | Arcahueja | 852 | 452.4 | 1 | 1 | R | B | S | | | | 313.8 |
| | 8.1 | | León | 820 | 460.5 | 6 | 26 | R | B | S | F | M | € | 305.7 |
| 21 (24.6km) | 3.8 | | Trobajo del Camino | | 464.3 | | 2 | R | B | S | F | M | € | 301.9 |
| | 3.3 | | La Virgen del Camino | | 467.6 | 1 | 6 | R | B | S | F | M | € | 298.6 |
| | | 2.4 | Fresno del Camino | | | | | | B | | | | | |
| | | 1.5 | Oncina de la Valduncina | | | 1 | | R | B | S | | | | |
| | | 5.6 | Chozas de Abajo | | | | | | B | | | | | |
| | 4.5 | | Villar de Mazarife | | | 3 | | R | B | S | F | M | € | |
| | 9.8 | | Villavante | | | 1 | 1 | R | B | S | | | | |
| 22 (23.7km) | 4.3 | | Valverde de la Virgen | 890 | 471.9 | 1 | | R | B | S | | | | 294.3 |
| | 1.5 | | San Miguel del Camino | 905 | 473.4 | | | R | B | S | | | | 292.8 |
| | 7.5 | | Villadangos del Páramo | 890 | 480.9 | | 3 | R | B | S | F | M | € | 285.3 |
| | 4.2 | | San Martín del Camino | 865 | 485.1 | 4 | | R | B | | | | | 281.1 |
| | 6.8 | | Puente de Órbigo | 827 | 491.9 | | 1 | R | B | S | | | | 274.3 |
| | 0.4 | 4.7 | Hospital de Órbigo | 820 | 492.3 | 5 | 6 | R | B | S | F | M | € | 273.9 |
| | 2.6 | | Villares de Órbigo | 828 | 494.9 | 2 | | R | B | S | F | M | € | 271.3 |
| | 2.4 | | Santibáñez de Valdeiglesias | 850 | 497.3 | 2 | | R | B | | | | | 268.9 |
| | | 11.7 | Crucero de Santo Toribio | 913 | | | | | | | | | | |
| | 7.9 | | San Justo de la Vega | 850 | 505.2 | | 1 | R | B | S | F | M | € | 261.0 |
| 3.6 | | Astorga | 870 | 508.8 | 3 | 11 | R | B | S | F | M | € | 257.4 | |
| 23 (25.8km) | | | Valdevejas | | 508.8 | 1 | | | | | | | | 257.4 |
| | 4.7 | | Murias de Rechivaldo | 880 | 513.5 | 2 | 2 | R | B | S | | | | 252.7 |
| | | 2.0 | Castrillo de los Polvazares | | | 1 | 3 | R | B | S | | | | |
| | 4.5 | 3.1 | Santa Catalina de Somoza | 975 | 518 | 2 | 1 | R | B | S | | | | 248.2 |
| | 4.1 | | El Ganso | 1,020 | 522.1 | 1 | 1 | B | | | | | | 244.1 |
| | 6.9 | | Rabanal del Camino | 1,153 | 529 | 4 | 8 | R | B | S | | | | 237.2 |
| | 5.6 | | Foncebadón | 1,430 | 534.6 | 4 | 3 | R | B | S | | | | 231.6 |
| 24 (26.8km) | 1.9 | | Cruz de Ferro | 1,500 | 536.5 | | | | | | | | | 229.7 |
| | 2.3 | | Manjarín | 1,445 | 538.8 | 1 | | | | | | | | 227.4 |
| | 7.0 | | El Acebo de San Miguel | 1,150 | 545.8 | 3 | 3 | R | B | S | | | | 220.4 |
| | 3.3 | | Riego de Ambrós | 930 | 549.1 | 1 | 1 | R | B | S | | | | 217.1 |
| | 4.6 | | Molinaseca | 580 | 553.7 | 4 | 10 | R | B | S | F | M | € | 212.5 |
| | 4.4 | | Campo | 540 | 558.1 | | | | B | S | | | | 208.1 |
| | 3.3 | | Ponferrada | 530 | 561.4 | 3 | 13 | R | B | S | F | M | € | 204.8 |

(3/5)

| Etapa (Km) | Km | Km (別ルート) | 地名 | 標高 | 累積 | A | H/C | R | B | S | F | M | € | 残存距離 | |
|----------------|-----|-----------|---------------------------------|-------|-------|----|-----|---|---|---|---|---|---|-------|-------|
| 25 (24.2km) | 4.9 | | Columbrianos | 537 | 566.3 | 1 | 2 | | B | S | | M | € | 199.9 | |
| | 2.4 | | Fuentesnuevas | 506 | 568.7 | 1 | | R | B | S | F | M | € | 197.5 | |
| | 2.4 | | Camponaraya | 491 | 571.1 | 2 | 3 | R | B | S | F | M | € | 195.1 | |
| | | 2.4 | Narayola | | | | | | | | | | | | |
| | | 3.0 | Carracedo del Monasterio | | | 1 | | R | B | S | | | | | |
| | 5.7 | 3.3 | Cacabelos | 475 | 576.8 | 3 | 5 | R | B | S | F | M | € | 189.4 | |
| | 2.1 | | Pieros | 543 | 578.9 | 1 | | | B | | | | | | 187.3 |
| | 1.9 | | Valtuille de Arriba | | 580.8 | | 1 | | B | | | | | | 185.4 |
| | 4.8 | | Villafranca del Bierzo | 500 | 585.6 | 7 | 1 | R | B | S | F | M | € | 180.6 | |
| | 5.1 | | Pereje | 545 | 590.7 | 1 | 1 | R | B | S | | | | | 175.5 |
| 26 (27.8km) | | 11.1 | Pradela | | | 1 | | R | B | | | | | | |
| | 4.5 | | Trabadelo | 576 | 595.2 | 5 | 4 | R | B | S | F | M | € | 171.0 | |
| | 3.9 | | La Portela de Valcarce | | 599.1 | 1 | 1 | R | B | S | | | | 167.1 | |
| | 1.1 | | Ambasmestas | 616 | 600.2 | 2 | 2 | R | B | S | | | | 166.0 | |
| | 1.7 | | Vega de Valcarce | 623 | 601.9 | 4 | 4 | R | B | S | F | M | € | 164.3 | |
| | 2.1 | | Ruitelán | 671 | 604 | 2 | | | B | S | | | | 162.2 | |
| | 1.3 | | Las Herrerías | 675 | 605.3 | 2 | 5 | R | B | S | | | | 160.9 | |
| | 3.4 | | La Faba | 921 | 608.7 | 2 | | | B | S | | | | 157.5 | |
| | 2.3 | | Laguna de Castilla ↓ Galicia | | 611 | 1 | | | | | | | | | 155.2 |
| | 2.4 | | O Cebreiro | 1,296 | 613.4 | 2 | 6 | R | B | S | | | | | 152.8 |
| 27 (20.8km) | 3.3 | | Liñares | 1,230 | 616.7 | 1 | 1 | | B | S | | | | 149.5 | |
| | 2.4 | | Hospital de Condesea | | 619.1 | 1 | 1 | R | B | | | | | 147.1 | |
| | 2.4 | | Padomelo | 1,283 | 621.5 | | | | | | | | | 144.7 | |
| | 0.4 | | Alto do Poio | 1,335 | 621.9 | 1 | 1 | R | B | S | | | | 144.3 | |
| | 3.3 | | Fonfría | 1,290 | 625.2 | 1 | 2 | | | | | | | 141.0 | |
| | 2.5 | | O Biduedo | | 627.7 | | 2 | R | B | | | | | 138.5 | |
| | 2.9 | | Fillobal | 957 | 630.6 | 1 | | R | B | | | | | 135.6 | |
| | 1.6 | | Pasantes | 800 | 632.2 | | 1 | | | | | | | 134.0 | |
| | | | Vilavella | | 632.2 | | 2 | | | | | | | 134.0 | |
| | 2.0 | | Triacastela | 662 | 634.2 | 8 | 6 | R | B | S | F | M | € | 132.0 | |
| 28 (17.8km) | 1.9 | | A Balsa | 720 | 636.1 | 1 | | | | | | | | 130.1 | |
| | 1.8 | | San Xil | 870 | 637.9 | | | | | | | | | 128.3 | |
| | 3.0 | | Montán | 762 | 640.9 | | | R | B | | | | | 125.3 | |
| | 3.2 | | Furela | 670 | 644.1 | | | | B | | | | | 122.1 | |
| | 1.2 | | Pintin | 630 | 645.3 | | 1 | R | B | | | | | 120.9 | |
| | | | O Barrio | | 645.3 | | 1 | | | | | | | 120.9 | |
| | 1.6 | | Calvor | | 646.9 | 1 | | | B | | | | | | |
| | | 4.0 | San Cristovo do Real | | | | | | B | | | | | | |
| | | | Lusio | | | 1 | | | | | | | | | |
| | | 1.6 | Renche | | | | | | B | S | | | | | |
| 29 | | 1.7 | Freituxe | | | | | | | | | | | | |
| | | 1.3 | San Martiño do Real | | | | | | | | | | | | |
| | | 1.6 | Samos | 532 | | 3 | 3 | R | B | S | F | M | € | | |
| | | 3.2 | Pascais | | | | | | | | | | | | |
| | | 1.9 | Gorófe | | | | 1 | | | | | | | | |
| | | 3.3 | Sivil | | | | 1 | | B | | | | | | |
| | | 1.3 | Perros | | | | | | | | | | | | |
| | 0.6 | 0.6 | Aguiada | | 647.5 | | | | B | | | | | | 118.7 |
| | 0.7 | | San Mamede do Camiño | 698 | 648.2 | 1 | | | | | | | | | 118.0 |
| | 3.8 | | Sarria | 454 | 652 | 19 | 15 | R | B | S | F | M | € | 114.2 | |
| 30 | 3.6 | | Vilei | 522 | 655.6 | 2 | | | | | | | | 110.6 | |
| | 0.6 | | O Mosteiro | | 656.2 | 3 | | R | B | S | | | | 110.0 | |
| | 1.0 | | Rente | 600 | 657.2 | | 1 | | | | | | | 109.0 | |
| | | | Barreiros | | 657.2 | 1 | | | | | | | | | |
| | 0.7 | | A Serra | | 657.9 | | | | B | | | | | 108.3 | |
| | 1.4 | | Molino de Marzán | | 659.3 | 1 | | | | | | | | 106.9 | |
| | 0.9 | | A Pena (Belante) | | 660.2 | | | | | | | | | 106.0 | |

(4/5)

| Etapa (Km) | Km | Km (別ルート) | 地名 | 標高 | 累積 | A | H/C | R | B | S | F | M | € | 残存距離 |
|----------------|----------------|----------------------------|--------------------------------|----------------------|-------|-------|-----|---|---|---|---|---|------|-------|
| 29 (22.2Km) | 0.9 | | Peruscallo | 638 | 661.1 | | | | B | | | | | 105.1 |
| | 1.0 | | Cortiñas | 642 | 662.1 | | | | | | | | | 104.1 |
| | 1.2 | | A Brea | 663 | 663.3 | | | | | | | | | 102.9 |
| | 0.6 | | Morgade | 650 | 663.9 | 1 | | R | B | | | | | 102.3 |
| | 1.0 | | Ferreiros | | 664.9 | 2 | | R | B | S | | | | 101.3 |
| | 0.6 | | Mirallos | 636 | 665.5 | | | R | B | | | | | 100.7 |
| | 0.5 | | A Pena | 643 | 666 | 1 | 1 | R | B | | | | | 100.2 |
| | 0.8 | | As Rozas | 659 | 666.8 | | | | | | | | | 99.4 |
| | 1.4 | | Moimentos | 575 | 668.2 | | | | | | | | | 98.0 |
| | 0.7 | | Mercadoiro | 645 | 668.9 | 1 | | R | B | | | | | 97.3 |
| | 1.6 | | A Parrocha | 486 | 670.5 | | | | | | | | | 95.7 |
| | 1.3 | | Vilachá | 421 | 671.8 | | | | | | | | | 94.4 |
| | 2.4 | | Portomarín | 387 | 674.2 | 16 | 10 | R | B | S | F | M | € | 92.0 |
| | 30 (24.8Km) | 4.7 | | Toxibó | 387 | 678.9 | | | | | | | | |
| 3.2 | | | Gonzar | 580 | 682.1 | 2 | | R | B | | | | | 84.1 |
| 1.3 | | | Castromaior | | 683.4 | 1 | 1 | | B | | | | | 82.8 |
| 2.3 | | | Hospital de la Cruz | | 685.7 | 1 | H | R | B | | | | | 80.5 |
| 1.5 | | | Ventas de Narón | 700 | 687.2 | 2 | | R | B | | | | | 79.0 |
| 3.2 | | | Ligonde | 630 | 690.4 | 2 | | | B | | | | | 75.8 |
| 0.9 | | | Airexe | | 691.3 | 1 | 1 | R | B | | | | | 74.9 |
| 2.1 | | | Portos | | 693.4 | 1 | | | B | | | | | 72.8 |
| 0.6 | | | Lestedo | | 694 | | 1 | R | B | | | | | 72.2 |
| 0.8 | | | Os Valos | | 694.8 | | H | | | | | | | 71.4 |
| 1.3 | | | A Brea (Lestedo) | | 696.1 | | | R | B | | | | | 70.1 |
| 2.9 | | | Palas de Rei | 565 | 699 | 9 | 14 | R | B | S | F | M | € | 67.2 |
| 31 (28.5Km) | | 3.4 | | San Xulián do Camiño | 470 | 702.4 | A | | R | B | | | | |
| | 1.0 | | Ponte Campaña | 423 | 703.4 | A | | | | | | | | 62.8 |
| | 1.2 | | Casanova ↑ Galicia (Lugo) | 480 | 704.6 | A | | | | | | | | 61.6 |
| | 2.8 | | O Coto ↓ Galicia (A Coruña) | | 707.4 | | 2 | | B | S | | | | 58.8 |
| | 0.6 | | Leboreiro | | 708 | | | | | | | | | 58.2 |
| | 4.0 | | Furelos | | 712 | | 1 | R | B | | | | | 54.2 |
| | 1.4 | | Melide | 454 | 713.4 | 10 | 11 | R | B | S | F | M | € | 52.8 |
| | 5.6 | | Boente | | 719 | 3 | | R | B | | | | | 47.2 |
| | 2.3 | | Fraga Alta (Castañeda) | 415 | 721.3 | A | 3 | R | B | | | | | 44.9 |
| | 3.1 | | Ribadiso da Baixo | 310 | 724.4 | 3 | 1 | R | B | | | | | 41.8 |
| | 3.1 | | Arzúa | 388 | 727.5 | 16 | 15 | R | B | S | F | M | € | 38.7 |
| 32 (19.3Km) | 2.1 | | Pregontoño | 336 | 729.6 | | | | B | | | | | 36.6 |
| | | | A Peroxa | 388 | | | | | B | S | | | | |
| | | | Os Penedos | | | A | | | B | S | | | | |
| | 2.8 | | As Quintas (Burres) | | 732.4 | A | | | | | | | | 33.8 |
| | 0.8 | | A Calzada (Burres) | 388 | 733.2 | | | R | B | | | | | 33.0 |
| | 1.8 | | A Calle de Ferreiros | | 735 | A | 1 | | B | | | | | 31.2 |
| | 1.6 | | Boavista | | 736.6 | | | R | B | | | | | 29.6 |
| | 2.2 | | Salceda | 362 | 738.8 | 3 | 1 | R | B | | F | | | 27.4 |
| | 2.0 | | A Brea (O Pino) | | 740.8 | A | 2 | R | B | S | | | | 25.4 |
| | 2.6 | | Santa Irene | 361 | 743.4 | 3 | | R | B | | | | | 22.8 |
| | | | Astrar | | | A | | | | | | | | |
| 1.8 | | A Rúa (O Pino) | 275 | 745.2 | A | 5 | | | | | | | 21.0 | |
| 1.6 | | O Pedrouzo (O Pino) | 280 | 746.8 | 9 | 17 | R | B | S | F | M | € | 19.4 | |
| 33 (19.4Km) | 3.3 | | Amenal | 254 | 750.1 | | 3 | | B | S | | | | 16.1 |
| | 3.9 | | San Paio | | 754 | | 1 | R | B | | | | | 12.2 |
| | 2.3 | | Labacolla | 300 | 756.3 | A | 7 | R | B | S | | | | 9.9 |
| | 1.3 | | Vilamaior | | 757.6 | | 1 | | | | | | | 8.6 |
| | 3.7 | | San Marcos | 370 | 761.3 | | H | R | B | S | | | | 4.9 |
| | 0.5 | | Monte do Gozo | 372 | 761.8 | 3 | H | R | B | S | | M | € | 4.4 |
| | 4.4 | | Santiago de Compostela | 253 | 766.2 | 21 | 17 | R | B | S | F | M | € | 0.0 |

■ (補遺) 我々が辿った行程

2024 CAMINO de SANTIAGO 実績日程表

| No | Date | Start | Finish | Dist | Transport |
|----|--------|--|--|----------|--------------|
| 1 | 6/2 日 | 自宅 | 潔ちゃん宅 | km | |
| 2 | 6/3 月 | KIX 18:30 発 EVA 航空 BR129 便 | TPE 乗継→パリ CDG 空港 | | EVA-Air |
| 3 | 6/4 火 | CDG 乗継→Biarrits-Apo AF9432 | St. Jean-Pied-de-Port | | AirFrance |
| 4 | 6/5 水 | St. Jean-Pied-de-Port 滞在 | 巡礼諸準備 | | — |
| 5 | 6/6 木 | St. Jean-Pied-de-Port | Valcarlos | 11 | 自転車 |
| 6 | 6/7 金 | Valcarlos 潔ちゃん: Valcarlos 発 ⇒ | St. Jean P. P. に一旦戻る Roncesvalles 着 | 11 16 | 自転車 |
| 7 | 6/8 土 | St. Jean-Pied-de-Port 滞在 潔ちゃん: Roncesvalles 発 ⇒ | St. Jean P. P. 帰着 | 27 | バス・徒歩 へ切替 |
| 8 | 6/9 日 | St. Jean-Pied-de-Port | Pamplona | 67 | 路線バス |
| 9 | 6/10 月 | Pamplona | Logloño | 96 | 同上 |
| 10 | 6/11 火 | Logloño | Burgos | 126 | 同上 |
| 11 | 6/12 水 | Burgos | León | 180 | 同上 |
| 12 | 6/13 木 | León | Ponferrada | 102 | 同上 |
| 13 | 6/14 金 | Ponferrada⇒Lugo 乗換・戻り | Sarria | 92 | 同上 |
| 14 | 6/15 土 | 終日 Sarria 滞在 | | | |
| 15 | 6/16 日 | Sarria | Portmarin | 22 | 路線バス |
| 16 | 6/17 月 | Portmarin | Ventas de Narón | 12 | taxi |
| 17 | 6/18 火 | Ventas de Narón | Palas de Rei | 12 | 徒歩 |
| 18 | 6/19 水 | Palas de Rei Melide 立ち寄り | Castañeda | 23 | 徒歩 |
| 19 | 6/20 木 | Castañeda | A Calle | 14 | 徒歩 |
| 20 | 6/21 金 | A Calle | Pedrouzo | 13 | 徒歩 |
| 21 | 6/22 土 | Pedrouzo | Lavacolla | 10 | 徒歩 |
| 22 | 6/23 日 | Lavacolla | Santiago de Compostela | 11 | 徒歩 |
| 23 | 6/24 月 | 終日 Santiago de Compostela | 大聖堂見学 | | |
| 24 | 6/25 日 | Fisterra 岬 日帰り巡拝 | Santiago~Fisterra 往復 | RT170 | 路線バス |
| 25 | 6/26 月 | 終日 Santiago de Compostela | 大聖堂、博物館等見学 | | |
| 26 | 6/27 木 | Santiago(SCQ) 発 13:35→CDG | Vueling 航空 VY8222 便 | — | Vueling |
| 27 | 6/28 金 | EVA 航空 BR088 便 CDG 発 11:20 | TPE 乗り継ぎ | | EVA-Air |
| 28 | 6/29 土 | EVA 航空 BR132 便 TPE 発 8:30 | KIX 着 12:10⇒自宅 | — | EVA-Air |

■ (補遺) 我々が泊まった宿の状況

スペイン 聖地巡礼 (Camino Francés) 泊まった宿の状況

(2024年6月現在)

ご参考までに、我々が泊まった宿の状況を記してご参考に供したい。

我々は、大抵の場合、宿泊予定日の前日の夕方に電話で予約を掛けたので、条件の良い宿はその殆どが満室になっていて予約できない場合が多かった。従って、結果的にNG (No Good) の宿に泊まらざるを得ないことも多かった。我々は病気持ちの高齢者であり、また巡礼宿 (アルベルゲ) の二段ベッド式大部屋での共同生活には馴染まないの、オスタル (ビジネスホテル・クラス) かペンション (民宿) をメインとして、これらが無ければオテル (ホテル) に泊まった。

本文でも記したが、これらの凡その宿泊料は下記のようなであった。

- アルベルゲ (公営、大部屋) . . . 喜捨 (Donation) ~10€程度
- 同 (民営、大部屋) . . . 15~20€程度
- オスタル (Hostal、ツインルーム1人当たり) . . . 25~50€
- オテル (Hotel、ツインルーム1人当たり) . . . 50~100€

以下、泊まった期日順に記す。料金は特に断らない限り1人当たりの宿泊のみの料金 (食事別)。

【フランス St. Jean Pied de Port】

- Hotel Itzalpea 68€ NG (対応非常に悪い)
- Central Hotel 朝食付き 63€ Good (部屋も対応も優)

【Valcarlos 以下スペイン】 Albergue Valcarlos Municipal 15€ 宿泊定員24名 (二段ベッド24床のワンルーム) オスピタレロ (宿主) を電話で呼び出して開鍵して貰う。

【Pamplona】 Hotel Ciudadela 43€ Good セントロの大通り沿い。場所便利。

【Logloño】 Hostal La Numantina 38€ Good セントロ

【Burgos】 Hotel Norte y Londres 35€ Good セントロ

【León】 Hostal Guzman el Bueno 15€ Good セントロ

【Ponferrada】 Hostal San Miguel II 25€ NG 郊外・不便

【Sarria】 Pensión Escalinata 23€ Very Good 対応優、聖蹟・史跡にも近い。

【Portmarin】 Hotel Portmarin Star 50€ 新設のリゾートホテル ダムの眺望&対応良

【Ventas de Narón】 Casa Molar 23€ NG 部屋貧弱オンボロ (掘っ建て小屋風)

【Palas de Rei】 Casa Camino 50€ シングル・ルーム most NG セントロではあるが、部屋狭く窓も無し

【Castañeda】 Pensión Garea 25€ Good 田舎の不便な場所にあったが、部屋・対応共に良。

【Calle】 Pensión Mirador 28€ NG 不便な田舎。場所分かりにくい。近くにBar等何も無し。スタッフ早仕舞、サービス無し。

【Pedrouzo】 Pensión Codesal 30€ NG 市街の外れ、付近にレストラン、Bar等何も無し。スパー有

【Lavacolla】 Pensión A Concha 料金失念 部屋は狭いが対応は可。

【Santiago de Compostela】 Hotel Universal 43€ Good 歴史地区外れのセントロに有り、カテドラル地区まで歩10分。部屋は3ベッドルームで広い。朝食:9€でGood。
日本 (HIS経由) での予約は70€!! (複数の予約業者が絡む為?)

【フランス Paris】 Moxxy Paris Charles de Gaulle Apo 65€/人 NG 空港近くだけが取り柄
(本稿了) — 44 —